

蘭越町森林整備計画（変更案）

自 令和 5年4月 1日
計画期間

至 令和15年3月31日
(令和7年4月1日変更)

変更理由・内容 地域森林計画に適合させるため変更
変更計画が有効となる年月日 令和7年4月1日

北海道
蘭越町

目 次

I	伐採、造林、保育その他森林の整備に関する基本的な事項	1
1	森林整備の現状と課題	
2	森林整備の基本方針	
3	その他必要な事項	
4	森林施業の合理化に関する基本方針	
II	森林の整備に関する事項	6
第1	森林の立木竹の伐採に関する事項（間伐に関する事項を除く。）	
1	樹種別の立木の標準伐期齢	
2	立木の伐採（主伐）の標準的な方法	
3	その他必要な事項	
第2	造林に関する事項	
1	人工造林に関する事項	
(1)	人工造林に関する事項	
(2)	人工造林の標準的な方法	
(3)	伐採跡地の天然更新をすべき期間	
2	天然更新に関する事項	
3	植栽によらなければ適確な更新が困難な森林に関する基準	
(1)	植栽によらなければ的確な更新が困難な森林に関する事項	
(2)	植栽によらなければ的確な更新が困難な森林の所在	
4	森林法第10条の9第4項の規定に基づく伐採の中止又は造林をすべき旨の命令の基準	
(1)	造林の対象樹種	
(2)	生育し得る最大の立木の本数	
5	その他必要な事項	
第3	間伐を実施すべき標準的な林齢、間伐及び保育の標準的な方法 その他間伐及び保育の基準	
1	間伐を実施すべき標準的な林齢及び間伐の標準的な方法	
2	保育の作業種別の標準的な方法	
(1)	下刈り	
(2)	除伐	
(3)	つる切り	
3	その他間伐及び保育に関する留意事項	
第4	公益的機能別施業森林等の整備に関する事項	
1	公益的機能別施業森林の区域及び当該区域内における森林施業の方法	
(1)	水源の涵養 ^{かん} の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林 (水源涵養林)	
(2)	土地に関する災害の防止及び土壌の保全機能、快適な環境の形成すべき森林、 その他水源涵養 ^{かん} 機能維持林以外の森林	

- 2 木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林の区域及び当該区域内における森林施業の方法
 - (1) 区域の設定
 - (2) 森林施業の方法
- 3 その他必要な事項
 - (1) 水資源保全ゾーン
 - (2) 生物多様性ゾーン（水辺林タイプ）
 - (3) 生物多様性ゾーン（保護地域タイプ）
 - (4) 施業実施協定

第5 委託を受けて行う森林の施業又は経営の実施の促進に関する事項

- 1 森林の経営の受委託等による森林の経営規模の拡大に関する方針
- 2 森林の経営の受委託等による森林の経営の規模の拡大を促進するための方策
- 3 森林の経営の受委託等を実施する上で留意すべき事項
- 4 森林経営管理制度の活用に関する事項

5 その他必要な事項第6 森林施業の共同化の促進に関する事項

- 1 森林施業の共同化の促進に関する方針
- 2 施業実施協定の締結その他森林施業の共同化の促進方策
- 3 共同して森林施業を実施する上で留意すべき事項
- 4 その他必要な事項

第7 作業路網その他森林の整備のために必要な施設の整備に関する事項

- 1 効率的な森林施業を推進するための路網密度の水準及び作業システムに関する事項
 - (1) 路網密度の水準
 - (2) 作業システムに関する基本的な考え方
- 2 路網整備と併せて効率的な森林施業を推進する区域に関する事項
- 3 作業路網の整備に関する事項
 - (1) 基幹路網に関する事項
 - (2) 細部路網に関する事項
 - (3) 基幹路網の維持管理に関する事項
- 4 その他必要な事項

第8 その他必要な事項..... 25

- 1 林業に従事する者の養成及び確保に関する事項
 - (1) 人材の育成・確保
 - (2) 林業事業者の経営体質強化
- 2 森林施業の合理化を図るために必要な機械の導入の促進に関する事項
- 3 林産物の利用の促進のために必要な施設の整備に関する事項

Ⅲ 森林の保護に関する事項

第1 鳥獣害の防止に関する事項

- 1 鳥獣害防止森林区域及び当該区域内における鳥獣害の防止の方法
 - (1) 区域の設定

(2) 鳥獣害の防止の方法	
2 その他必要な事項	
第2 森林病虫害の駆除及び予防、火災の予防その他の森林の保護に関する事項……	28
1 森林病虫害等の駆除及び予防の方法	
(1) 森林病虫害等の駆除及び予防の方針及び方法	
(2) その他	
2 鳥獣害対策の方法（第1に掲げる事項を除く）	
3 林野火災の防除の方法	
4 森林病虫害の駆除等のための火入れを実施する場合の留意事項	
5 その他必要な事項	
(1) 病虫害の被害を受けている等の理由により伐採を促進すべき森林	
(2) その他	
IV その他の保健機能の増進に関する事項……	30
1 保健機能森林の区域	
2 保健機能森林の区域内の森林における造林、保育、伐採その他の施業の方法に関する事項	
3 保健機能森林の区域内における森林保健施設の整備に関する事項	
(1) 森林保健施設の整備	
(2) 立木の期待平均樹高	
4 その他の必要な事項	
V その他森林の整備のために必要な事項……	30
1 森林経営計画の作成に関する事項	
2 生活環境の整備に関する事項	
3 森林の整備を通じた地域振興に関する事項	
4 森林の総合利用の推進に関する事項	
5 住民参加による森林の整備に関する事項	
6 その他必要な事項	
別表1 公益的機能別施業森林及び木材等生産機能の維持増進を図る森林の区域……	35
別表2 森林施業の方法を特定すべき森林の区域……	48
別表3 鳥獣害防止森林区域……	56

I 伐採、造林、保育その他森林の整備に関する基本的な事項

1 森林整備の現状と課題

本町は、後志総合振興局管内の南西部に位置し、北部にはニセコ連邦の一部を形成している雷電岳、目国内岳、チセヌプリなどが連なり、この一帯はニセコ・積丹小樽海岸国定公園区域となっています。

また、町のほぼ中央を東西に尻別川が約30kmにわたり貫流しており、尻別川とその支流沿いに耕作地が開け、集落が形成されています。

本町の総面積は44,978であり、森林に恵まれており、森林面積は35,052で総面積の78%を占めています。また、森林のほとんどが民有林であり、その内訳は私有林18,622、国有林25道有林14,649、町有林1,756となっています。そのうちカラマツ及びトドマツを主体とした人工林の面積は7,661であり人工林率は37%で、齢級構成では、6～7齢級の林分も多く、今後、保育、間伐を適正に実施していくことが重要です。

本町の森林は地域住民の生活に密着した里山から、林業生産活動が積極的に実施されるべき人工林帯、さらには、大径木の広葉樹が林立する天然生の樹林帯まで多様性に富んだ林分構成になっております。

地球規模での環境負荷が増大する中、森林の有する多面的機能が着目されています。本町では「蘭越町総合計画」に基づいて①水土保持の整備と保全（保育・間伐、高齢級・複層状態森林への誘導、山地災害防止等）、②森林と人との共生林の整備と保全（保育・間伐、広葉樹導入、野生生物の回廊の確保、保健・文化・教育機能の発揮等）、③資源の循環利用林の整備と保全（施業集団化・機械化、造林・保育・間伐、林道・作業網整備、森林組合支援等）④植林事業の充実（初田牧場、港牧場、北の魚つきの森事業等）に取り組んでいます。

また、「蘭越町環境基本条例」の基本理念を実現するうえでも、森林の整備及び保全は重要となっており、課題として以下のとおりです。

南西部の上目名地区、北東部の吉国地区などでは、カラマツ・トドマツを中心とした造林が盛んに行われており、齢級構成も他の地区から比べて高く、伐期を迎える林分も多く存することから林業生産活動を通じた適切な森林整備を図るとともに、環境に優しい素材である木材の有効活用の観点から、計画的な伐採を推進することが重要です。また、下流域に農地があることから、山地災害防止機能の高い森林の整備も求められています。

相生・清水地区をはじめとして本町は天然林の広葉樹帯が広く存しますが、環境保全を重視した森林整備を進めるうえで、広葉樹の保全や施業に対する要請が高く期待される田下、讃岐、吉国地区などは、水源涵養保安林の整備が重視されます。

南西部の目名地区においては、本町の特産品のひとつであるシイタケ栽培が盛んで、品質の高い原木栽培を継続することが重要であり、シイタケ原木の安定的供給が必要です。

北東部の湯里・日出地区は、温泉・スキー場等の滞在型のレクリエーション施設と土地の開発が進んでいる地域であり、周辺の広葉樹林等については、人々の憩いの場とし

て遊歩道、林内整備等が求められます。

港・初田地区については、特に海岸に近く位置していることなどから、魚類等の水生生物の生息環境と深くかかわる森林として重視した整備及び保全をすることが求められています。

2 森林整備の基本方針

(1) 地域の目指すべき森林資源の姿

森林の整備にあたっては、森林の有する多面的機能を総合的かつ高度に発揮させるため、生物多様性の保全及び地球温暖化の防止に果たす役割並びに近年の地球温暖化に伴い、豪雨の増加等の自然環境の変化や急速な少子高齢化と人口減少等の社会的情勢の変化も考慮しつつ、さらには放射線物質の影響等も考慮し適正な森林施業の面的な実施や森林の保全の確保により、健全な森林資源の維持造成を推進します。

また、近年の森林に対する道民の要請を踏まえ、流域治水とも連携した国土強靱化対策を推進するとともに、航空レーザ測量等のリモートセンシングによる高精度な森林資源情報や詳細な地形情報の整備により、現地調査の省力化や適切な伐採区域の設定、林道等の路網整備の効率化、崩壊リスクが高い箇所における効果的な治山施設の配置等を推進することとします。あわせて、シカ等による森林被害も含めた森林の状況を適確に把握するための森林資源のモニタリングの継続的な実施や森林GISの効果的な活用を図ることとします。

このため、森林を地域の特性、森林資源の状況並びに森林に関する自然的条件及び社会的要請を総合的に勘案し、それぞれの森林が特に発揮することを期待されている機能に応じて森林の有する公益的機能の維持増進を図るべき森林としての公益的機能別施業森林と、木材等生産機能の維持増進を図る森林（以下「木材等生産林」という。）の区域を設定するとともに、公益的機能別施業森林については、水源の涵養の機能の維持増進を図る森林について「水源涵養林」、土地に関する災害の防止及び土壌の保全の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林について「山地災害防止林」、快適な環境の形成の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林について「生活環境保全林」、及び保健文化の維持増進を図るための森林施業を維持すべき森林について「保健・文化機能等維持林」の区域（以下「森林の区域」という）を設定します。

さらに、「水源涵養林」においては、水道取水施設上流部に位置し、水資源の安定供給のために特に保全が求められる森林について「水資源保全ゾーン」や、「保健・文化機能等維持林」においては、河川や湖沼周辺に位置し生物多様性保全の機能の発揮のために特に保全が求められる森林について「生物多様性ゾーン（水辺林タイプ）」及び貴重な森林生態系を維持し特に保全が求められる森林について「生物多様性ゾーン（保護地域タイプ）」を、「木材等生産林」においては、森林資源の保続に配慮しつつ、多様な木材需要に応じた持続的、安定的な木材生産を可能とするため、伐採後に原則、植栽による更新を行う森林について「特に効率的な施業が可能な森林」をそれぞれの区域の中で重ねて設定します。

なお、「水源涵養林」において、木材等生産機能も併せて維持増進を図るべき区域については、「木材等生産林」との重複区域として設定することとします。

この森林の区域に応じた望ましい森林の姿へ誘導するため、育成単層林における適確な更新や保育及び間伐の積極的な推進、広葉樹林化・針広混交林化を含め、人為と天然力を適切に組み合わせた多様性に富む育成複層林の計画的な整備、天然生林の的確な保全及び管理等に加え、保安林制度の適切な運用、山地災害や野生鳥獣被害等の防止対策の推進等により、発揮を期待する機能に応じた多様な森林の整備及び保全を図ることとします。

なお、林道等の林内路網は、効率的な森林施業や森林の適正な管理経営に必要不可欠であり、農山村地域の振興にも資することから、計画的な路網整備を推進することとします。

(2) 森林整備の基本的な考え方及び森林施業の推進方策

森林の区域ごとの望ましい森林の姿並びに森林整備の基本方針は次表のとおりとします。

【森林の区域と森林整備の基本方針】

公益的機能別施業森林

重視すべき機能	森林の区域	望ましい森林の姿	森林の整備及び保全の基本方針
水源涵養機能	水源涵養林	下層植生とともに樹木の根が発達することにより、水を蓄える隙間に富んだ浸透・保水能力の高い森林土壌を有する森林であって、必要に応じて浸透を促進する施設等が整備されている森林。	良質な水の安定供給を確保する観点から、適切な保育・間伐を促進しつつ、下層植生や樹木の根を発達させる施業を行うとともに、伐採に伴って発生する裸地の縮小及び分散を図る施業を推進する。
	水資源保全ゾーン	下層植生とともに樹木の根が発達することにより、水を蓄える隙間に富んだ浸透・保水能力の高い森林土壌を有する森林で、多様な樹種構成及び樹齢からなる森林。	良質な水の安定供給を特に確保する観点から、伐採に伴って発生する裸地の縮小及び分散、植栽による機能の早期回復、並びに濁水発生回避を図る施業を推進する。
山地災害防止機能 土壌保全機能	山地災害防止林	下層植生が生育するための空間が確保され、適度な光が射し込み、下層植生とともに樹木の根が深く広く発達し土壌を保持する能力に優れた森林であって、必要に応じて山地災害を防ぐ施設等が整備されている森林。	災害に強い地域環境を形成する観点から、地形、地質等の条件を考慮した上で、林床の裸地化の縮小及び回避を推進する。 また、保安林の指定及びその適切な管理を推進するとともに、溪岸の浸食防止や山脚の固定等を図る必要がある場合には、谷止めや土留等の施設の設置を推進する。
快適環境形成機能	生活環境保全林	樹高が高く枝葉が多く茂っているなど、遮蔽能力や汚染	地域の快適な生活環境を保全する観点から、風や騒音等の防備や

			物質の吸着能力が高く、諸被害に対する抵抗性が高い森林。	大気の浄化のために有効な森林の構成の維持を基本とし、快適な環境の保全のための保安林の指定やその適切な管理、及び防風・防潮や景観の創出等生活環境の保全等に重要な役割を果たしている海岸林等の保全を推進する。	
保健・レクリエーション機能 文化機能 生物多様性保全機能	健康・文化機能等維持林		<p>身近な自然や自然とのふれあいの場として適切に管理され、多様な樹種等からなり、住民等に憩いと学びの場を提供している森林であって、必要に応じて保健・教育活動に適した施設が整備されている森林。</p> <p>史跡・名勝や天然記念物などと一体となって潤いのある自然景観や歴史的風致を構成している森林であって、必要に応じて文化活動に適した設備が整備されているなど、精神的・文化的知的向上等を促す場としての森林。</p> <p>原生的な森林生態系、希少な生物が生息・生育する森林、陸域・水域にまたがり特有の生物が生息・生育する森林。</p>	<p>生物多様性の保全や保健、レクリエーション利用、文化活動を進める観点から、森林の構成を維持し、樹種の多様性を増進することを基本とし、それぞれの森林が求められる機能やあり方に応じ、保護及び適切な利用の組み合わせに留意して、適切な保育・間伐等や広葉樹の導入を図る施業を推進する。</p> <p>また、保健・風致の保存等のための保安林の指定やその適切な管理を推進するとともに、住民等にとって憩いと学びの場として期待される森林にあつては、立地条件や町民のニーズ等に応じ、広葉樹の導入を図るなどの多様な森林整備を推進する。</p> <p>なお、潤いある自然景観や歴史的風致の創出を期待される森林にあつては、美的景観の維持・形成に配慮した森林整備を推進する。</p>	
		生物多様性ゾーン	水辺林タイプ 保護地域タイプ	<p>日射遮断、隠れ場形成など野生生物の生育・生息に適した森林や、周辺からの土砂・濁水等の流入制御等に寄与している森林で、針広混交林などの多様な樹種構成及び樹齢からなる森林。</p> <p>原生的な森林生態系を構成し、希少な野生生物の生育・生息に適した森林で、針広混交林などの多様な樹種構成及び樹齢からなる森林。</p>	<p>水辺における生物多様性保全の観点から、森林の保全に配慮した施業を推進するとともに、濁水発生回避を図る施業を推進する。</p> <p>希少な野生生物の生育・生息地確保の観点から、原生的な森林の保全や希少種の保全に配慮した施業を推進するとともに、野生生物のための回廊の確保にも配慮した</p>

				生態系として重要な森林の適切な保全を推進する。
--	--	--	--	-------------------------

公益的機能別施業森林以外の森林

重視すべき機能	森林の区域	望ましい森林の姿	森林の整備及び保全の基本方針
木材等生産機能	木材等生産林	林材の生育に適した土壌を有し、木材として利用する上で良好な樹木により構成され、成長量が高い森林であって、林道等の基盤施設が適切に整備されている森林。	木材等の林産物を持続的、安定的かつ効率的に供給する観点から、森林の健全性を確保し、木材需要に応じた樹種、径級の林材を生育させるための適切な造林、保育及び間伐等を推進する。 また、将来にわたり、育成単層林として維持する森林で、主伐後の植栽による確実な更新を行うとともに、施業の集約化や機械化を通じた効率的な整備を推進する。
	特に効率的な森林施業が可能な森林	特に林木の生育に適した土壌のほか、傾斜が緩やかであるなどの自然条件を有し、木材として利用する上で良好な樹木により構成され成長量が高い森林であって、林道等の基盤施設が適切に整備されている森林。	特に木材等の林産物を持続的、安定的かつ効率的に供給する観点から、森林の健全性を確保し、木材需要に応じた樹種、径級の林木を生育させるための適切な造林、保育及び間伐等を推進する。また、区域設定した人工林にあつては、主伐後は原則、植栽による確実な更新を行うとともに、施業の集約化や機械化を通じた効率的な整備を推進する。

なお、次の地区については、それぞれの状況に合わせて施業を行うこととします。

- ① 昆布地区においては、景観の維持向上を図り、森林とのふれあいの場を提供するため、広葉樹の育成を図るとともに、歩道等の整備を促進することとします。
- ② 蘭越地区においては、残された里山林を保全するとともに地域住民の憩いの場としての整備を推進することとします。
- ③ 目名地区においては、シイタケ原木の計画的な供給を推進するため、ナラ類を中心とする森林施業を推進します。
- ④ その他の地区については、山地災害防止機能を重視し、住民の生活安定・向上のため計画的かつ効率的な森林整備を推進することとします。

(3) その他必要な事項

- ア 長伐期施業や複層林施業による多様な森林への誘導や皆伐に伴う裸地面積の縮小及び分散を図るよう務めることとします。
- イ 森林の有する公益的機能が重視される森林で風害を受けやすい地域においては、風害に強い多様な樹種・樹冠層により形成される森林へ誘導するため、人工造林や

天然更新（ち表処理等）を適切に組み合わせ、樹種や林齢の異なる森林の構造を基本におき、植栽本数の低減や植栽時期の分散を図るものとします。

ウ 種の保存法（絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律）に定める「国内希少野生動植物種」及び北海道生物の多様性の保全等に関する条例に定める「指定希少野生動植物種」並びに文化財保護法又は文化財保護条例で「天然記念物」及び「特別天然記念物」に指定されている野生生物の生物環境の保全を図るため、これらの生育・生息状況に配慮した森林施業を図るよう努めることとします。

3 森林施業の合理化に関する基本方針

小規模な森林所有形態や林業従事者の高齢化に対応するため、森林所有者、森林組合、関係機関等関係者の合意形成を図りながら、森林施業の共同化、林業従事者の養成及び確保、地元産材の流通、加工体制の整備等について、計画的かつ総合的に推進するものとします。

また、森林整備を推進する上で最も重要となる林業労働力について、本町の林業労働の担い手である南しりべし森林組合は、現在、保育作業を中心とした体制になっていますが、今後主伐期を迎える林分が多く、また、間伐を計画的に推進するためにも、高性能林業機械の導入も含め、伐採を計画的に実施するための体制整備を推進することとします。

II 森林の整備に関する事項

第1 森林の立木竹の伐採に関する事項（間伐に関する事項を除く。）

1 樹種別の立木の標準伐期齢

立木の標準伐期齢は、町内の標準的な立地条件にある森林の平均成長量が最大となる林齢を基準とし、森林の有する公益的機能、平均伐採齢及び森林の構成を勘案し、次の表のとおりとします。

	樹 種	標準伐期齢
人 工 林	エゾマツ・アカゾエマツ	60
	トドマツ	40
	カラマツ（グイマツとの交配種を含む）	30
	スギ	50
	その他針葉樹	40
	カンバ・ドロノキ・ハンノキ（天然林を含む）	30
	ヤナギ	5
	その他広葉樹	40
天 然 林	主として天然下種によって生立する針葉樹	60
	主として天然下種によって生立する広葉樹	80
	主としてぼう芽によって生立する広葉樹（注）	25

（注1）敷料等の木質バイオマス利用促進を図るため短伐期で主伐を繰り返すヤナギ林に

限ることとし、保安林及び保安施設地区並びに公益的機能別施業森林は除きます。
(注)「主としてぼう芽によって生立する広葉樹」とは、薪炭材、ほだ木等の原木生産を目的として、ぼう芽によって更新を図る広葉樹をいいます。

標準伐期齢は、地域の標準的な立木の伐採（主伐）の時期に関する指標として定められるものであり、森林経営計画の認定基準や、保安林の伐採における適否判定基準等に利用されます。

なお、標準伐期齢に達した時点での森林の伐採を促すためのものではありません。

2 立木の伐採（主伐）の標準的な方法

Iの2の森林整備の基本方針を踏まえ、適切な森林の施業方法により、立木を伐採することとします。

(1) 主伐

主伐については、更新を伴う伐採であり、その伐採方法別の留意点については次によることとします。

ア 皆伐

皆伐については、主伐のうち、イの択伐以外のものとします。

皆伐にあたっては、気象、地形、土壌等の自然的条件のほか車道等や集落からの距離といった社会的条件及び公益的機能の確保の必要性を踏まえ、適切な伐採区域の形状、一箇所当たりの伐採面積の規模及び伐採区域のモザイク的配置や景観への影響に配慮し、適確な更新を図ることとします。

、一箇所当たりの伐採面積は、原則として20を超えないよう、伐採面積の縮小及び伐採箇所の分散に努めることとします。

伐採の時期については、地域の森林の齢級構成等を踏まえ、森林の有する多面的機能発揮との調和に配慮することとします。

イ 択伐

択伐は、主伐のうち伐採区域の森林を構成する立木の一部を伐採する方法であって、単木・帯状又は樹群を単位として伐採区域全体ではおおむね均等な割合で行うこととし、原則として材積にかかる伐採率が30%以下（伐採後の造林が植栽による場合にあっては40%以下）とするよう努めることとします。

なお、択伐にあたっては、森林の有する多面的機能の維持推進が図られる適正な林分構造となるよう、適切な伐採率により一定の立木材積を維持することとします。

(2) 主伐にあたっては、森林の有する公益的機能の発揮と森林生産力の維持増進に配慮して行うこととし、伐採跡地が連続することがないように、伐採跡地間には少なくとも周辺森林の成木の樹高程度の幅を確保します。

また、伐採作業に伴う林業機械の走行等に必要の集材路の作設等にあたっては、伐採する区域の地形や地質等を十分に確認した上で配置の計画や施工等を行い、森林の更新及び森林の土地の保全への影響を極力抑えることとします。

なお、伐採の対象とする立木については、標準伐期齢以上を目安として選定することとします。

(3) 伐採後の適確な更新を確保するため、あらかじめ適切な更新の方法を定め、その方法を勘案して伐採を行うこととします。特に、伐採後の更新が天然更新により行

われる場合には、天然稚樹の生育状況、母樹の保存、種子の結実、飛散状況等を考慮して行うこととします。

なお、自然条件が劣悪なため、伐採の方法を特定する必要がある森林における伐採の方法については、択伐等適確な更新の確保が図られるよう配慮することとします。

- (4) 複層林施業の主伐を行う場合は、上層木の樹冠層を保残させることに特に留意し、自然的条件を踏まえ、森林を構成している樹種、林分構造等を勘案して行うこととし、下層木の発芽や育成に配慮するために十分な光が当たるよう、適切な伐採率及び繰り返し期間により行うこととします。

3 その他必要な事項

(1) その他伐採に関する留意事項

ア 適切な人工林資源の循環利用を維持するため、高齢級間伐材等も取り入れた長伐期施業に取り組み、資源の平準化を図ることとします。

なお、長伐期施業を実施する林分の選定に当たっては、地位が高く、間伐等により適切に密度管理を行ってきた箇所や風雪害は少ない地域を選択するなど、長伐期施業の導入が可能な林分であるかを判断しながら進めることとします。

イ 林地の保全、雪崩及び落石等の防止、寒風害等の各種被害の防止、風致の維持、溪流周辺や尾根筋等、森林における生物多様性の保全などのために必要がある場合には、所要の保護樹帯を設置することとします。

ウ 次の地域は、林地崩壊、生態系の攪乱などにつながるおそれがあり、また、伐採後の更新が困難となることから、皆伐を行わないよう努めることとします。

(ア) 確実な更新が困難な湿地・風衝地・岩石地等

(イ) 土砂の流出や崩壊が発生するおそれがある急傾斜地・石礫地・沢沿い等

(ウ) 野生生物の生育・生息の場の提供・水質浄化・土砂や濁水の流入制御等の機能を持つ河川や湖沼周辺の水辺林等

エ 伐採作業等に伴う立木への損傷は、将来的に腐朽菌被害の発生につながるおそれが高いことから、伐採等にあたっては、必要に応じて保護板（あて木）を設置するほか、機械の林内走行の範囲を森林作業道・集材路に限定するなどにより、伐採しない立木への損傷をできる限り減らす作業に努めることとします。

オ 伐採等の実施にあたっては、降雨等による土砂や汚濁水の流出防止に努めるとともに、伐採作業の途中であっても大雨が予想される場合等は、必要に応じて集材路等に排水路を作設するなど、浸食防止に努めることとします。

なお、水道取水施設の上流で造材を行う場合等で、降雨等により河川の汚濁が懸念される場合は、伐採・搬出を土壌が凍結する冬季間に行うなど時期や方法に配慮することとします。

また、特に河川周辺で造材を行う場合は、増水時に枝条や残材等が流出して流木被害の一要因とならないよう、十分に留意することとします。

カ 特色ある森林景観や野生生物の生育・生息環境の保存に配慮した伐採を行うこととします。

特に、クマゲラ、シマフクロウ、クマタカ及びオオタカなどの希少鳥類等につい

て、営巣木が確認された場合、その営巣木の位置や営巣期間等に配慮し、伐採の内容や伐採の時期の調整を行うこととします。

ク 集材路とは、立木の伐採、搬出等のために林業機械等が一時的に走行することを目的として作設される仮施設をいい、規格は森林作業道と同等かそれ以下とします。土場とは、集材路を使用して木材等を搬出するため、木材等を一時的に集積し、積込みの作業等を行う場所をいい、集材路・土場は、使用後は原則植栽等により植生の回復を促します。

なお、詳細については別添「主伐時における伐採・搬出指針の制定について」（令和3年3月16日付2林整整第1157号林野庁長官通知）によることとします。

第2 造林に関する事項

1 人工造林に関する事項

Iの2の森林整備の基本的な事項を踏まえ、適切な森林整備方法により、人工造林をすることとします。

また、効率的な森林整備を行うため、将来の保育コストを抑える観点から、高性能林業機械の導入を見据えた施業プランの下で人工造林を検討することとします。

(1) 人工造林の対象樹種

人工造林の対象樹種は、気候、地形、地質などの自然条件への適合、それぞれの樹種の特質、既往の成林状況など適地適木を基本として、地域における造林種苗の需給動向及び木材需給等にも考慮し、選定するものとします。

また、多様な森林の整備を図る観点から、広葉樹や郷土樹種を含め、幅広く樹種を検討するものとします。特に河畔沿いについては、河川の水質浄化や落葉等による有機物の供給などが期待できることから、積極的に広葉樹を選定するものとします。

なお、山腹崩壊の危険性が高い急傾斜地や沢沿いについては、カツラやミズナラ等の深根性で根系の支持力が大きい樹種の植栽に考慮するものとし、育成複層林へ誘導する林分については、樹種の耐陰性や既往の成林状況、自然条件等を勘案し、植栽樹種を選定するものとします。

区 分	樹 種	備 考
人工造林の対象樹種	カラマツ、トドマツ、エゾマツ、アカゾエマツ、グイマツ（F1を含む）、ヤチダモ、カツラ、カンバ類、ドロノキ、ハンノキ、ミズナラ、その他郷土樹種	

なお、その他郷土樹種及び定められた樹種以外の樹種を植栽しようとする場合は、林業普及指導員等と相談の上、適切な樹種を選択することに努めるものとします。

(2) 人工造林の標準的な方法

① 育成単層林施業

造林に際しては、寒風被害等の気象害及び病虫害等に考慮し、保護木・保護樹林帯の配置、同一樹種の大面積造林の回避など、多様な森林の整備に配慮して行うものとし、適確な更新により裸地状態を早急に解消するため、気候、地形、地質、土壌等の

自然的条件に適合した樹種を早期に植栽するものとします。特に水土保持林にあっては、林地の安定化を目的とした無立木等への植栽を積極的に行うものとします。

効率的な施業実施の観点から、技術的合理性に基づき、コンテナ苗の活用や伐採と造林の一貫作業についても努めることとします。

地拵えは、それぞれの地域の地形、土壌、植生、気象条件及び過去の野ねずみ被害の状況等を考慮したうえで、全刈り又は条刈りにより行うものとします。

なお、土砂の流出が懸念される急傾斜地等の場合は、全刈りを避け、刈払いの方向や枝条等の置き場に十分に留意することとします。

コンテナ苗は、裸苗に比べ植栽が可能となる期間が長いことから、必ずしも第2の1の(2)のアの(エ)の時期によらないものとしますが、自然・立地条件等を十分に考慮し、確実な成林が期待できるよう植え付け時期の配慮に努めることとします。

植栽時期は春又は秋植えとしますが、乾燥時期を避け、必要に応じて植え穴を大きくして植え付けるなど、その後の苗木の活着と成長が十分図られるように行うものとします。

植栽本数は、次表の主要樹種の植栽本数を基礎として、既往の植栽本数及び個々の樹種特性を勘案して仕立ての方法別に定めることとし、多様な森林の整備を図る観点から、様々な施業体系や生産目標を想定した植栽本数について検討するものとします。

なお、植栽本数の検討にあたっては、周囲の人工林の生育状況、気象災害の発生状況等を勘案し、森林の有する多面的機能の高度発揮や植栽コストの低減を図ることを目的に本数の低減についても併せて検討するものとします。

特に、初期成長が早く、通直性や耐そ性が向上したグイマツ雑種F1等を植栽する場合は、植栽本数の低減に努めるものとします。植栽本数の低減にあたっては、将来の保育コストを抑える観点から、高性能林業機械の導入を見据えた植栽設計を検討するものとします。

また、周囲に樹冠が十分発達した母樹があり、天然更新も期待できる林分にあっては、天然更新木の積極的な活用を検討するものとします。

【植栽本数】

単位 本/ha

仕立ての方法	樹			種	
	カラマツ	トドマツ	アカエゾマツ	その他針葉樹	広葉樹
密仕立て	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
中庸仕立て	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
疎仕立て	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500

なお、定められた標準的な本数の範囲を超えて植栽しようとする場合は、林業普及指導員等と相談の上、適切な植栽本数を判断して行うように努めるものとします。

区分	樹種	植栽期間
春植え	トドマツ、アカエゾマツ	4月上旬～6月下旬
	カラマツ、その他	4月上旬～6月下旬

秋 植 え	トドマツ、アカゾエマツ	9月下旬～11月下旬
	カラマツ、その他	9月下旬～11月下旬

②育成複層林施業

施業に当たっては、下層木の成長に必要な照度を常に確保するものとします。

植栽により更新を確保する場合は、上層木の枝下部への植栽を避けるものとし、植栽の本数については、標準的な植栽本数に上層木の材積伐採率を乗じた本数以上を基本とするものとします。

【複層林の導入に伴う植栽本数の例】

蘭越町のカラマツ林で材積率 30%の択伐を行い、カラマツを植栽して複層林とする。



蘭越町森林整備計画で示すカラマツの標準的な植栽本数が 2,000 本とすると

$2,000 \times 0.3 = 600$ となり、カラマツはおおむね 600 本以上を植栽することになります。

(3) 伐採跡地の人工造林をすべき期間

植栽によらなければ適確な更新が困難な森林及びそれ以外の森林の伐採跡地においての人工造林をすべき期間については、次のとおりとします。

皆伐による伐採跡地については、林地の荒廃を防止し、裸地状態を早急に解消するため、当該伐採が終了した日を含む年度の翌年度の初日から起算して2年以内に人工造林を実施し、更新を図ることとします。

択伐による部分的な伐採跡地については、伐採が終了した日を含む年度の翌年度の初日から起算して5年以内に人工造林を実施し、更新を図ることとします。

なお、天然更新による場合は2(3)によることとします。

2 天然更新に関する事項

天然更新は、気候、地形、土壌等の自然的条件、林業技術体系等からみて、主に天然力を活用することによりの確な更新が見込まれる森林において行うこととします。

(1) 天然更新の対象樹種

天然更新の対象樹種は、ぼう芽更新ではイタヤカエデ、ミズナラなどとし、天然下種更新ではカンバ類やドロノキ・ハンノキなどとし、

区 分	樹 種	備 考
天然更新の対象樹種	イタヤカエデ、ハンノキ、ミズナラ、カンバ類、ドロノキなど	

(2) 天然更新の標準的な方法

ア 天然更新の完了の判断基準

第2の2(3)に定める天然更新をすべき期間内に、天然に発生した稚幼樹の成立が確実に見込める樹高成長があり、かつ、周辺の植生の草丈に50cm程度の余裕高を加えた樹高となった高木性樹種(注1)の稚幼樹等(注2)が、幼齡林(注3)にあつては成立本数が立木度(注4)3以上、幼齡林以外の森林にあつては林地面

積（注5）に対する疎密度が30%以上となった状態をもって更新完了とします。

また、ぼう芽更新の場合は、ぼう芽性の強い樹種（イタヤカエデ、ハルニレ、ミズナラ等）を対象とし、切株から発生したぼう芽幹の生育が確実に見込める伸長があり、かつ、周辺の植生の草丈に50cm程度の余裕高を加えた樹高となった状態で、幼齢林にあつては成立本数が立木度3以上、幼齢林以外の森林にあつては林地面積に対する疎密度が30%以上となった状態をもって更新完了とします。ただし、林地内で更新の状況が異なる場合は、区画を分割し、それぞれの区画に対して判断を行うこととします。

なお、天然更新の完了を確認する方法の詳細については、「天然更新完了基準書の制定について」（平成24年5月15日付け森林第111号森林計画課長通知）によることとします。

（注1）「高木性樹種」とは、将来において樹冠上層部を形成する樹種で、かつ、樹高が10m以上になる樹種です。

（注2）「稚幼樹等」とは、稚幼樹のほか、保残木及びぼう芽を含みます。

（注3）「幼齢林」とは、伐採後おおむね15年生未満の森林をいいます。

（注4）「立木度」とは、幼齢林（おおむね15年生未満の林分）において、現在の林分の本数と当該林分の林齢に相当する期待成立本数（天然更新すべき本数の基準）との対比を十分率であらわしたもので、立木度3は期待成立本数の3割が更新した状態をいいます。なお、伐採後5年を経過した林分における天然更新の対象樹種の期待成立本数は、別途定める「天然更新の完了の判断基準について」によることとします。

$$\text{立木度} = \text{現在の林分の本数} / \text{当該林分の林齢に相当する期待成立本数（注6）} \times 10$$

（注5）「林地面積」とは、更新完了の判断を行う区画の面積です。

（注6）「天然更新をすべき期間は満了した日における期待成立本数」

広葉樹		針葉樹（中層、下層は広葉樹に準じる）	
階層	期待成立本数	階層	期待成立本数
上層	300本/ha	上層（カラマツ）	300本/ha
中層	3,300本/ha	上層（その他の針葉樹）	600本/ha
下層	10,000本/ha		

上層：母樹になりうる前生樹で、樹冠が大きく成長した壮齢林、老齢林（天然林の標準伐期齢）

中層：伐採後に更新したと考えられるもののうち、樹種特性上初期成長が早い樹種及び前生樹などで、上層木より樹冠面積の小さいもの

下層：中層木より樹冠面積の小さいもの

イ 天然更新補助作業の標準的な方法

天然下種により更新を行う場合には、ササや粗腐植の堆積等により更新が阻害されている箇所については、かき起こしや枝条整理等を行うこととし、ササなどの競合植物により天然に発生した稚幼樹の生育が阻害されている箇所については、刈出し等を行うこととします。

また、ぼう芽により更新を行う場合には、樹液の流動期（6～8月）を避けて伐

採することとし、ぼう芽の発生状況等を考慮の上、必要に応じ芽かき又は植込みを行うこととします。

いずれの箇所も定期的に更新の状況等を確認し、必要に応じ補植等を行い更新を確保することとします。

なお、かき起こしの実施にあたっては、林地の保全に十分留意することとし、更新が不十分な箇所については、補植等を行って更新を確保することとします。

(3) 伐採跡地の天然更新をすべき期間

伐採跡地における林地の荒廃を防止する観点から、皆伐、択伐に関わらず原則として伐採が終了した日を含む年度の翌年度の初日から起算して5年以内に更新を完了させることとします。

期間内に更新が完了しなかった場合は、速やかに更新を図る観点から、伐採が終了した日を含む年度の翌年度の初日から起算して7年を経過する日までに天然更新補助作業又は植栽により更新を図ることとします。

3 植栽によらなければ適確な更新が困難な森林に関する基準

(1) 植栽によらなければ適確な更新が困難な森林の基準

主伐後の適確な更新を図るため、次の森林については原則として植栽によらなければ適確な更新が困難な森林とし、植栽により更新を図ることとします。

植栽によらなければ適確な更新が困難な森林の基準及び区域は、自然条件や森林の有する機能の早期回復に対する地域住民等からの社会的要請などを勘案し、次のとおり定めます。

ア 気象、地形、地質、土壌等の自然条件及び植生等により天然更新が期待できない森林

イ 水源涵養機能の早期回復が特に求められる水資源保全ゾーン^{かん}の森林

、天然更新が期待できない森林は、現況が針葉樹人工林であり、母樹となり得る高木性の広葉樹林が更新対象地の斜面上方や周囲100m以内に存在せず、林床にも更新樹種が存在しない森林を基本として定めます。

特に、カラマツやトドマツなどの人工林資源の保続を図るとともに、確実かつ早期に更新を図るため、木材等生産機能の維持増進を図る森林の区域に位置づけられている森林のうち、人工林の全森林について次のとおり指定します。

(2) 植栽によらなければ適確な更新が困難な森林の所在

【一般民有林】

該当なし

【道有林】

林班171、172の水資源保全ゾーンとなっている林小班

なお、上記の森林において、主伐を行う場合は、「伐採跡地の人工造林をすべき期間」の期間内に人工造林を行う必要があります（注）。

（注）植栽の具体的な方法については、森林経営計画の実施基準として、農林水産省令による基準が適用されます。

4 森林法第10条の9第4項の規定に基づく伐採の中止又は造林をすべき旨の命令の

基準

(1) 造林の対象樹種

- ア 人工造林においては、1の(1)によるものとします。
- イ 天然更新においては、2の(1)によるものとします。

(2) 生育し得る最大の立木の本数として想定される本数

2の(2)において記載している「5年生の天然更新の対象樹種の期待成立本数」によるものとします。

5 その他必要な事項

- (1) 土砂の流出が懸念される急傾斜地等で地拵えを行う場合は、全刈りを避け、刈払いの方向や枝条等の置き場に十分に留意するものとします。
- (2) 伐採跡地等が放置されないようにするため、森林組合等と連携して森林経営に意欲的な者に伐採跡地等の取得を促すなど林地流動化の取組を通じて、伐採跡地等の更新を確保します。

第3 間伐を実施すべき標準的な林齢、間伐及び保育の標準的な方法その他間伐及び保育の基準

1 間伐を実施すべき標準的な林齢及び間伐の標準的な方法

間伐を実施すべき標準的な林齢及び間伐の標準的な方法は、次のとおりとします。

- (1) 間伐は、林冠がうっ閉し、林木間の競争が生じ始めた森林において、主に目的樹種の一部を伐採して行う伐採の方法であって、伐採後一定の期間内に林冠がうっ閉するよう行うこととします。
- (2) 間伐に当たっては、森林資源の質的向上を図るとともに、適度な下層植生を有する適正な林分構造が維持されるよう、適切な伐採率により繰り返し行うこととします。特に、高齢級の森林における間伐に当たっては、立木の成長力に留意することとします。

なお、主要樹種ごとの標準的な間伐の時期等については、次表のとおりとします。

樹種 (生産目標)	施業方法	間伐の時期(林齢)					標準的な方法
		初回	2回	3回	4回	5回	
カラマツ 【グイマツとの 交配種を含む】 (一般材)	植栽本数： 2,000本/ha 仕立て方法： 中庸仕立て 主伐時の設定： 450本/ha	24	35	47	—	—	選木方法～定性及び列状 間伐率～20%～35% 間伐間隔年数 標準伐期齢未満： 11年 標準伐期齢以上： 12年
トドマツ (一般材)	植栽本数： 2,000本/ha 仕立て方法： 中庸仕立て 主伐時の設定： 450本/ha	15	22	29	36	—	選木方法～定性及び列状 間伐率～20%～35% 間伐間隔年数 標準伐期齢未満： 7年

アカエゾマツ (一般材)	植栽本数： 2,000 本/ha	2 2	3 0	3 8	4 6	5 4	選木方法～定性及び定量 間伐率～20%～35% 間伐間隔年数 標準伐期齢未満：8年
	仕立て方法： 中庸仕立て 主伐時の設定：400 本/ha						

注1) 「カラマツ間伐施業指針（北海道林務部監修）」、「トドマツ人工林間伐の手引き（北海道林務部監修）」、「アカエゾマツ人工林間伐の手引き（(地独)北海道立総合研究機構林業試験場発行）」などを参考とした。

注2) 植栽本数、主伐時の生産目標及び仕立て方法により、間伐時期が異なる場合がある。

注3) トドマツ、アカエゾマツは蘭越町の地位及び気候条件等により応じて間伐時期（林齢）を設定した。

2 保育の作業種別の標準的な方法

(1) 下刈りは、植栽木の成長を阻害する草本植物等を除去し、植栽木の健全な育成を図るため、特に作業の省力化・効率化にも留意しつつ、局地的気象条件、植生の繁茂状況等に応じて適切な時期及び作業方法により行うものとし、その終期は、植栽樹種の生育状況、植生の種類及び植生高により判断するものとします。

(2) 除伐は、下刈りの終了後、林冠がうっ閉する前の森林において、侵入木や通常の成長が見込めない若しくは形質の悪い植栽樹種などを除去し、植栽樹種の健全な成長を図るため、森林の状況に応じて適時適切に行うこととします。植栽樹種以外であっても、その生育状況、森林の有する多面的機能の発揮及び将来の利用価値等を勘案し、有用なものは保残し育成することとします。

(3) つる刈りは、育成の対象となる林木の成長を促すため、樹幹に巻き付いたつる類を切って取り除くこととします。除伐と合わせて行うことを基本とし、つる類の繁茂の状況に応じて実施します。

なお、主要樹種ごとの標準的な保育の時期等については、次表のとおりとします。

樹種	年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	植栽										
カラマツ	春	①	②	②	①	①					
	秋		②	②	①	①	①				
トドマツ	春	①	②	②	①	①	①	①			
	秋		②	②	①	①	①	①	①		
アカエゾマツ	春	①	②	②	①	①	①	①	①	①	
	秋		②	②	①	①	①	①	①	①	①

樹種	年	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	植栽										
カラマツ	春			△							
	秋				△						
トドマツ	春						△				
	秋							△			
アカエゾ	春						△				

マツ	秋							△			
----	---	--	--	--	--	--	--	---	--	--	--

注) 1 カラマツには、グイマツとの交配種を含む。

注) 2 記載の例

①：下刈り 1回 ②：下刈り 2回 △：つる切り、除伐

3 その他間伐及び保育に関する留意事項

木材生産林に関しては、森林の健全性を確保し利用価値の向上を図るため、適切な間伐及び保育を実施することとします。

特に、枝打ちについては、生産目標及び立木の生育状況に応じて適切な時期及び枝打ち高により積極的に行うこととします。

また、保育コストの低減を図るため、緩傾斜地など機械での作業に適した条件にある森林については、高性能林業機械の導入や列状間伐を検討することとします。

第4 公益的機能別施業森林等の整備に関する事項

1 公益的機能別施業森林の区域及び当該区域内における森林施業の方法

(1) 水源の涵養^{かん}の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林（水源涵養^{かん}林）

ア 区域の設定

水源涵養機能の高度発揮が求められている森林を基本とし、水源かん養保安林及び干害防備保安林、ダム集水区域や主要な河川の上流に位置する水源地周辺の森林、地域の用水源として重要なため池、湧水池、溪流等の周辺に存する森林、水源涵養機能^{かん}の評価区分が高い森林など水源の涵養^{かん}の機能の維持増進を図る森林を別表1のとおり定めます。

イ 森林施業の方法

下層植生や樹木の根を発達させる施業を基本とし、伐期の延長、伐採に伴って発生する裸地の縮小及び分散を図ることとし、当該森林施業を推進すべき森林を別表2のとおり定めます。

(2) 土地に関する災害の防止及び土壌の保全の機能、快適な環境の形成すべき森林その他水源涵養機能維持林以外の森林

ア 区域の設定

(ア) 土地に関する災害の防止及び土壌の保全機能の維持増進を図る森林（山地災害防止林）

土砂崩壊防備保安林、土砂流出防備保安林、なだれ防止保安林、落石防止保安林や、砂防指定地周辺、山地災害危険地区、その他山地災害の発生により、人命・人家等施設への被害のおそれがある森林、その他山地災害防止、土壌保全機能の評価区分が高い森林など、山地災害防止機能及び土壌保全機能の維持増進を図る森林を別表1のとおり定めます。

(イ) 快適な環境の形成の機能の維持増進を図る森林（生活環境保全林）

飛砂防備保安林、潮害防備保安林、防風保安林、除雪保安林、防霧保安林、防火保安林や騒音・粉塵等の影響を緩和する森林、その他快適環境形成機能の評価区分

が高い森林など、快適な環境の形成機能の維持増進を図る森林を別表1のとおり定めます。

(ウ) 保健・レクリエーション機能、文化機能及び生物多様性保全機能の維持増進を図る森林（保健・文化機能等維持森林）

保健保安林、風致保安林、都市緑地法に規定する緑地保全地域及び特別緑地保全地区、都市計画法に規定する風致地区、文化財保護法に規定する史跡名勝天然記念物に係る森林、キャンプ場、森林公園等の施設を伴う森林などの道民の保健・教育的利用などに適した森林、史跡等と一体となりすぐれた自然景観等を形成する森林、その他保健文化機能の評価区分が高い森林など、保健・レクリエーション機能、文化機能及び生物多様性保全機能の維持増進を図る森林を別表1のとおり定めます。

イ 森林施業の方法

地形・地質等の条件を考慮した上で伐採に伴って発生する裸地の縮小並びに回避を図るとともに、天然力も活用した施業、風や騒音等の防備や大気の浄化のために有効な森林の構成の維持を図るための施業、憩いと学びの場を提供する観点からの広葉樹の導入を図る施業、美的景観の維持・形成に配慮した施業の推進を図ることとし、具体的には、森林の有する公益的機能の維持増進を特に図るための森林施業を推進すべき森林については、択伐による複層林施業を推進すべき森林として定め、それ以外の森林については、択伐以外の方法による複層林施業を推進すべき森林として定めます。

また、一部皆伐しても、適切な伐区の形状・配置等により、伐採後の林分においてこれらの機能の確保できる森林は、長伐期施業をすべき森林とした上で、一部皆伐をすることを可能とします。

なお、保健文化機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林のうち、特に、地域独自の景観等が求められる森林においては、風致の優れた森林の維持又は造成のために特定の樹種の広葉樹を育成する森林施業を行う森林として定めます。それぞれの森林の区域については、別表2のとおり定めます。

2 木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林の区域及び当該区域内における施業の方法

(1) 区域の設定

木材等生産機能の維持増進を図る森林の区域については、林木の生育が良好な森林で地形、地利などから効率的な森林施業が可能な森林の区域について設定することとします。このうち、林地生産力や傾斜等の自然条件、林道等や集落からの距離等の社会的条件を勘案し、森林の一体性を踏まえつつ、特に効率的な森林施業が可能な森林の区域を定めることとします。

なお、公益的機能別施業森林及び木材等生産機能の維持増進を図る森林の区域については、重複を認めるものとします。

(2) 森林施業の方法

木材等生産機能の維持増進を図る森林については、森林の公益的機能の発揮に留意しつつ、路網整備、森林施業の集約化・機械化等を通じた効率的な森林整備を推進することとし、多様な木材需要に応じた持続的・安定的な木材などの生産が可能となる資源構成となるよう、計画的な主伐と植栽による確実な更新に努めます。特に効率的な森林施業が可能な森林の区域のうち人工林においては、原則として植栽による更新を行うこととします。

森林の区域	区域の設定の基準	施業の方法に関する指針
木材等生産林	林木の生育に適した森林、路網の整備状況等から効率的な施業が可能な森林など、木材等生産機能の評価区分が高い森林で、自然条件等から一体として森林施業を行うことが適当と認められる森林について、必要に応じて林小班単位で定める。	木材等の生産目標に応じた主伐の時期及び方法を定めるとともに、植栽による確実な更新、保育及び間伐等を推進することを基本とし、森林施業の集約化、路網整備や機械化等を通じた効率的な森林整備を推進する。
特に効率的な施業が可能な森林	上記を踏まえ、かつ、人工林を中心とした林分構成であり、傾斜が比較的緩やかで路網からの距離が近い森林。	上記に加え、伐採後は、原則、植栽による更新を行う。

なお、木材等資源の効率的な循環・利用を考慮して、伐採時期の多様化を図るなどに応じた伐採するとし、人工林の主要な樹種の主伐時期については次表を目安とします。

樹種	主伐時期	仕立て方法	(参考) 主伐時期の平均直径
カラマツ (グイマツとの交配種を含む)	60年	中庸仕立て	30cm
トドマツ	50年	中庸仕立て	30cm
アカエゾマツ	70年	中庸仕立て	30cm

3 その他必要な事項

北海道の特性に応じた森林の整備・管理を進めるため、1の公益的機能別施業森林の区域に重複して次の区域を設定します。

(1) 水資源保全ゾーン

ア 区域の設定

水源涵養林のうち、属地的に水源涵養機能の発揮が特に求められている森林を基本とし、水道取水施設等の集水域及びその周辺において、特に水質保全上重要で伐採の方法等を制限する必要があると認める森林について、それぞれの森林の立地条件、地域の要請を踏まえ、特に北海道水資源の保全に関する条例（平成24年北海道条例第9号）第17条の規定に基づく水資源保全地域に指定される森林について、別表1の2とおりに定めます。

イ 森林施業の方法

1の水源涵養林における森林施業を基本としますが、更なる伐採面積の縮小及び分散化に努めることとし、森林経営計画の実施基準として伐採面積の規模の縮小

を行うべき森林を、別表2のとおり定めます。

また、特に急傾斜地等土砂の崩壊又は流出するおそれのある森林については、択伐による複層林施業を推進すべき森林として別表2のとおり定めます。

施業の実施にあたっては、水質への影響を最小限に抑えるため、伐採、造材及び搬出を冬期間に行うなど、時期や搬出方法等に留意するとともに、集材路等へ水切りを設置するなど降雨等により河川に土砂が流出しないよう、きめ細かな配慮を行うこととします。

伐採跡地については早期に確実な更新を図るものとします。

(2) 生物多様性ゾーン（水辺林タイプ）

ア 区域の設定

保健・文化機能等維持林のうち、属地的に生物多様性保全機能の発揮が特に求められている森林を基本とし、中でも生物多様性での配慮が求められる水辺林、周囲からの土砂や濁水等の流入により生態系に影響を与える恐れのある水辺林、地域で生物多様性の維持増進に取り組んでいる水辺林等、特に保全が必要と認める水辺林について、河川の両岸・湖沼周辺から原則20m以上の区域を小班単位又は小班の一部について、別表1のとおり定めます。

イ 森林施業の方法

1の保健・文化機能等維持林における森林施業を基本とし、択伐による複層林施業を推進すべき森林として別表2のとおり定めます。

施業の実施にあたっては、作業路・集材路は極力既設路線の使用に努め、集材路や重機の使用にあたっては土砂流出等を最小限に抑えるようきめ細やかな配慮を行うなど、伐採及び造材に伴う地表攪乱を最小限に抑えることとします。

(3) 生物多様性ゾーン（保護地域タイプ）

ア 区域の設定

保健・分化機能等維持林のうち、属地的に生物多様性保全機能の発揮が特に求められている森林を基本とし、他の法令や計画等により既に保護地区として設定されている森林のほか、特に保護地域として保全が必要と認める森林について林小班単位で、別表1のとおり定めます。

イ 森林施業の方法

1の保健・文化機能等維持林における森林施業を基本とし、択伐による複層林施業を推進すべき森林として別表2のとおり定めます。

また、伐採等による環境変化を最小限に抑えることを最優先し、森林の保護を図ることとします。

第5 委託を受けて行う森林の施業又は経営の実施の促進に関する事項

1 森林の経営の受委託等による森林の経営規模の拡大に関する方針

本町の森林所有者の65%は5ha未満の小規模な森林所有者となっていることから、施業の集約化による施業コストの低減と木材の安定供給を図る必要があります。

このため、南しりべし森林組合及びその他の民間林業事業者による森林経営の受託や林地流動化の促進により、森林経営の規模拡大を促進することとします。

2

委託を受けて行う森林の施業又は経営の実施等を図るため、施業集約化と長期施業受委託等に必要な森林情報の提供及び助言・あっせんなどを推進し、長期にわたり持続的な経営を実現できる林業経営体への委託を進めることとします。その際、長期の施業等の委託が円滑に進むよう、森林の土地の所有者届出制度の運用や固定資産税情報の適切な利用を通じて、得られた情報を林地台帳に反映するなどして、森林所有者情報の精度向上を図るとともに、その情報提供を促進することとします。あわせて、航空レーザ測量等により整備した森林資源情報の公開を促進し、面的な集約化を進めることとします。このほか、施業集約化等を担う森林施業プランナーの育成を進めることとします。

3 森林の経営の受委託等を実施する上で留意すべき事項

森林の施業又は経営の受託を実施する際には、受託者である森林組合・林業事業者と委託者である森林所有者が森林経営受委託契約を締結することとします。

なお、森林経営受委託契約においては、森林経営計画の計画期間内（5カ年間）において、自ら森林の経営を行うことができるよう造林、保育及び伐採に必要な育成権等が付与されるようにすることに加えて、森林経営計画が施業の行う森林のみならず、当面の施業を必要としない森林に対する保護も含めた計画となるよう委託事項を適切に設定することに留意するほか、森林経営計画の実行・監理に必要な路網の設置及び維持運営に必要な権原や、森林整備に要する支出の関係を明確化するための条項を適切に設定することに留意します。

4 森林経営管理制度の活用に関する事項

林業の成長産業化と森林資源の適切な管理の両立を図るため、市町村を介して森林所有者が自ら林業経営を行えない森林を意欲と能力のある林業経営者につなぐことで林業経営の集積・集約化を図るとともに、経済的に成り立たない森林については、市町村が自ら経営管理を行うことができるように図るなど、森林経営管理制度の活用に努めることとします。

また、森林経営管理制度に基づく意向調査については、森林調査簿や林地台帳を基に経営管理が行われていないと思われる森林を対象として実施し、森林所有者が責務を果たすよう森林経営計画の作成促進に努めることとします。

5 その他必要な事項

該当なし

第6 森林施業の共同化の促進に関する事項

1 森林施業の共同化の促進に関する方針

本町の森林所有者の65%は5未満の小規模な森林所有者であり、森林施業を計画的、効率的に行うために、町、森林組合、森林所有者が地域ぐるみの推進体制を整備するとともに、集落単位での森林の施業の集約化を図っていくこととします。長期、短期の施業委託や路網の整備により、地域の森林整備を森林組合が中心となって計画的に進めていくこととします。

森林施業の共同化を促進するためには、森林所有者間の合意形成を図ることが必要

です。このため、町及び森林組合等による集落懇談会等を開催するとともに、普及啓発活動を展開することにより、合意形成を図るものとします。

2 施業実施協定の締結その他森林施業の共同化の促進方策

森林法第10条の11の8第1項で規定される施業実施の締結の促進を図り、森林施業の協同実施及び作業路網の維持管理等について森林施業の共同化をより確実に進めます。

具体的には、森林所有者等へ施業等の受委託の働きかけを積極的に行い、森林組合等の意欲ある林業事業者への施業の集約化を図るものとします。

また、不在村森林所有者への普及啓発活動を強化し、森林組合等による施業の長期受委託を促進するものとします。その際、長期的な施業受委託が円滑に進むよう、森林所有者等への情報提供と施業方法やコストを明示する提案型施業の普及及び定着を促進するものとします。

3 共同して森林施業を実施する上で留意すべき事項

森林所有者等が共同して森林施業を実施する場合には、次の事項に留意することに努めることとします。

ア 共同森林施業実施者は、一体として効率的に施業を実施するのに必要な作業道、土場、作業場等の施設設置及び維持管理の方法並びに利用に関し必要な事項をあらかじめ明確にすること。

イ 共同森林施業実施者は、共同して実施しようとする施業の種類に応じ、労務の分担又は相互提供、林業事業者等への共同による施業委託、種苗その他の共同購入等、共同して行う施業の実施方法をあらかじめ明確にすること。

ウ 共同施業実施者の一人がア又はイより明確にした事項について厳守しないことにより、他の共同施業実施者に不利益を被らせ又は森林施業の共同実施の実効性が損なわれないよう、あらかじめ施業の共同実施の実効性を担保するための措置について明確にすること。

4 その他必要な事項

該当なし

第7 作業路網その他森林の整備のために必要な施設の整備に関する事項

1 効率的な森林施業を推進するための路網密度の水準及び作業システムに関する事項

(1) 路網密度の水準

効率的な森林施業を推進するための林地の傾斜区分や搬出方法に応じた路網密度の水準について、次のとおり定めます。

単位 路網密度：m/h a

区 分	作業システム	路 網 密 度	
		基幹路網	

緩傾斜地 (0° ~15°)	車両系 作業シ ステム	110以上	35以上
中傾斜地 (15° ~30°)	車両系 作業シ ステム	85以上	25以上
急傾斜地 (30° ~)	架線系 作業シ ステム	20<15>以上	20<15>以上

(注) 1 「車両系作業システム」とは、フォワーダ等を活用した車両系の林業により林内の路網を移動しながら木材を集積、運搬するシステム。

2 「架線系作業システム」とは、林内に架設したワイヤーロープに取り付

けた搬器等を移動させて木材を吊り上げて集積するシステム。タワーヤード等を活用。

3 『急傾斜地』の<>書きは、広葉樹の導入による針広混交林化など育成複層林へ誘導する森林における路網密度。

なお、本表は、木材搬出予定箇所で路網を整備する際の見安として適用するものであり、施業を行わない箇所、伐採・搬出を伴わない施業（造林、保育）を行う箇所に適用するものではありません。

(2) 作業システムに関する基本的な考え方

作業システムについては、間伐等の素材生産の低コスト化、高効率化を図るためには、高性能林業機械の性能を最大限に発揮させることを主眼とした労働生産性の向上が不可欠となります。

このためには、機械の性能に応じ一定規模以上の事業量の安定的な確保や、機械作業に適合した高密度の路網、工程全体を通じて生産性が高まるような人員や機械の配置など、地域においてそれらを総合的に組み合わせた低コスト作業システムを構築していく必要があります。

特に、作業全体の効率性を左右する木寄せ・集材工程の効率化を図ることが重要であることから、次の表を見安として主にグラップル、フォワーダ等の車両系林業機械に適合させる形で、輸送距離や輸送量を勘案し、路網をそれぞれの役割に応じて組み合わせ、傾斜等に応じた密度により適切に配置することとします。

傾斜区分	伐倒	集材《木寄せ》	造材	巻立て
緩傾斜地 (0° ~15°)	フェラーバン チャー	トラクタ【全木集材】	ハーベスタ・プロ セッサ	グラップルローダ
		《グラップルローダ》 【全木集材】		(ハーベスタ・プロセッサ)
	フェラーバン チャー	スキッド【全木集材】	ハーベスタ・プロ セッサ	グラップルローダ
				(ハーベスタ・プロセッサ)
	ハーベスタ	トラクタ【全幹集材】	ハーベスタ	グラップルローダ
				《グラップルローダ》

	ハーベスタ	フォワーダ【短幹集材】	(ハーベスタ)	(フォワーダ)
中傾斜地 (15° ~30°)	チェーンソー	トラクタ【全木集材】	ハーベスタ・プロ セッサ	グラップルローダ
		《グラップルローダ》		(ハーベスタ・プロセッ サ)
急傾斜地 (30° ~)	チェーンソー	スイングヤード 【全幹集材】	チェーンソー	グラップルローダ
			ハーベスタ・プロ セッサ	(ハーベスタ・プロセッ サ)

※ () は、前工程に引き続き同一機種により実施する工程について記載。

※ 【 】 は、集材方法

※ 集材《木寄せ》工程において、グラップルローダ（全幹）を集材に活用している事例がある。

2 作業路網整備に関する事項と路網整備を併せて効率的な森林施業を推進する区域に関する事項

作業路網の整備と併せて、効率的な森林施業を推進する区域（路網整備等推進区域）を次のとおり設定します。

【一般民有林】

【道有林】

路網整備等推進地域名	面積	開設予定路線	開設予定延長	対図番号	備考
蘭越町川上地区	77	84 林班線	2, 700m	②	林業専用道
蘭越町三笠地区	33	貝殻沢	1, 500m	②	林業専用道 (規格相当)

3 作業路網の整備に関する事項

(1) 基幹路網に関する事項

①基幹路網の作設にかかる留意点

安全の確保、土壌の保全等を図るため、適切な規格・構造の林道の整備を図る観点等から、林道規程(昭和48年4月1日付け林野道第107号林野庁長官通知)、林業専用道作設指針(平成22年9月4日付け22林整備第602号林野庁長官通知)を基本として、道が定める林業専用道作設指針(平成23年3月31日付け森計第1280号北海道水産林務部長通知)に則り開設します。

②基本路網の整備計画

林道を含む基幹路網の開設・拡張計画は次のとおりです。

【一般民有林】

単位 延長：km 面積：ha

開設／ 拡張	種類	区分	路線名	延長及び 箇所数	利用区 域面積	前半5カ年の 計画箇所	対図 番号	備考
開設	自動車道		蘭越立川	－1				
開設	自動車道		貝川上目名	－1				

【道有林】

開設／ 拡張	種類	区分	路線名	延長及び 箇所数	利用区 域面積	前半5カ年の 計画箇所	対図 番号	備考
拡張	自動車道 (改良)		ピシカ リベツ	1.0－1		○		局部 改良
拡張	自動車道 (改良)		アオ の沢	0.5－1		○		局部 改良
計				1.5－2				
開設	自動車道	林業 専用道	84 林班	2.7－1	77	○		
計				2.7－1	77			

(2) 細部路網の整備に関すること

細部路網の作設に関する留意点

継続的な使用に供する森林作業道の開設について、林道との関連の考え方や丈夫で簡易な規格・構造の路網を整備する観点等から、森林作業道作設指針（平成22年11月17日付け林整整第656号林野庁長官通知）を基本として、道が定める森林作業道作設指針（平成23年3月31日付け森整第1219号北海道水産林務部長通知）に則り開設します。

(3) 基幹路網の維持管理に関する事項

「森林環境保全整備事業実施要領」（平成14年3月29日付け13林整整第885号林野庁長官通知）、「民有林林道台帳について」（平成8年5月16日8林野基第158号林野庁長官通知）等に基づき、管理者を定め、台帳を作成して適切に管理します。

4 その他必要な事項

該当なし第8 その他必要な事項

1 林業に従事する者の養成及び確保に関する事項

林業に従事する者の養成及び確保を図るため、就業相談会の開催、北海道立北の森づくり専門学院（北森カレッジ）等で学ぶ生徒や新規就業者、現場技能者に対する知識・技術の習得等により、段階的かつ体系的な人材育成を促進するとともに、地域の実態に応じた林業への新規参入・起業など林業従事者の裾野の拡大、女性等の活躍・定着に取り組むこととします。また、林業従事者の通年雇用化、社会保険の加入促進などによる雇用関係の明確化と雇用の安定化、技能などの客観的な評価の促進等によ

り、他産業並の所得水準の確保に向けて取り組むとともに、労働安全対策を強化し労働環境の改善を図ることとします。

これらと合わせ、林業経営体の法人化・協業化等の促進や森林組合との事業連携等を通じた経営基盤及び経営力の強化等により、長期にわたり持続的な経営を実現できる林業経営体を育成し、林家等に対する経営手法・技術の普及指導に積極的に取り組むとともに、適切な森林施業を行い、労働安全管理に努める林業事業体を活用し、森林所有者の施業の円滑化を推進することとします。

国の「森林・林業基本計画」では、適正かつ効率的な森林整備の実施などのため、林業事業体に関する情報の登録・公表や評価する仕組みの導入を推進すること、また、北海道では、伐採跡地の増加、粗雑な施業が見受けられること及び労働災害等の発生率が高いことが課題となっています。

このため、北海道では、森林整備等を行う林業事業体の基本的情報等を登録し、公表する「北海道林業事業体登録制度」が創設されました。

本町においても、本制度を周知・活用し、森林所有者等が森林整備等を林業事業体に委託して実施するにあたり、明確かつ客観的な事業体情報に基づいて事業実行者を選択することができるようにするとともに、適切な森林施業を行い、労働安全衛生管理に努める健全な林業事業体の育成を図ります。

(1) 人材の育成・確保

ア 林業に従事する者の養成及び確保の方向

新規の林業就業者や専門的知識を有する技術者の養成、高性能林業機械等高度な運転技術が必要とされるオペレーターや次世代を担う中堅労働者を対象とした作業リーダーの育成を行うための研修を積極的に活用することにより、新規雇用の促進と人材の育成に努め、基幹的労働者の定着及び確保を図るものとします。

イ 林業労働者及び林業後継者の育成方策

① 林業労働者の育成

林業労働者の育成のため、次のとおり対策を進めることとします。

㊦ 林業従事者に対する技術研修の受講を推進し、林業従事者の技術向上に努めることとします。

㊧ 近隣市町村との連携による広域就労の促進により、雇用の通年化・安定化を図ることとします。

② 林業後継者等の育成

林業後継者の育成のため、次のとおり対策を進めることとします。

㊦ 道内外の木材市況の動向把握に努め、情報を提供するとともに、木材消費の開拓について町としても検討をすることとし、林業経営の魅力を高めるようにすることとします。

㊧ 各種林業補助施策の導入について検討することにより、林業の活性化と林業従事者の生活環境の整備を図るとともに、林業技術等の啓発、普及及び後継者の育成に努めることとします。

㊨ 林業後継者の活動の拠点となる施設の整備
該当なし

(2) 林業事業体の経営体質強化

年間を通じた林業従事者の就労を確保するため、林業従事者における森林整備の掘り起こしや、林業経営コンサルタントなど、経営の多角化や協業化により、経営の体質強化、高度化を促進するものとします。

特に、地域の森林における森林整備の中心的な担い手や、山村地域の雇用の受け皿として、重要な役割を担う森林組合の経営基盤の強化が必要であるため、組織体制の充実や、事業活動の強化などを図り、地域の中核となる森林組合の育成に努めるものとします。

さらに、林業事業体の基本的情報等を登録し、公表する「北海道林業事業体登録制度」により、森林所有者等が客観的情報に基づき、森林整備等の受託者を選択することができるようにするとともに、適切な森林施業の実施や労働安全衛生管理に努める健全な林業事業体の育成に取り組むこととします。

2 森林施業の合理化を図るために必要な機械の導入の促進に関する事項

木材の生産供給体制の整備と森林施業の合理化を図るため、従来からのチェーンソーと、トラクタによる作業システムに加え、ハーベスタによる伐倒、枝払い、玉切り作業とフォワーダによる短幹集材作業のシステムを活用するなど、高性能林業機械による効率的な作業システムの普及及び定着を図るものとします。

また、高性能林業機械の導入を推進するに当たっては、地域における地形、資源、作業量及び林業労働の動向を踏まえ、森林組合を中心に効果的、効率的な導入に努めます。

なお、作業種による高性能機械を主体とした林業機械の導入目標は次表のとおりとします。

作業の種類		現状	将来
伐採、伐倒		チェーンソー	チェーンソー、ハーベスタ
造材		チェーンソー	チェーンソー、プロセッサ
集材		林内作業車・小型集材車	林内作業車・小型集材車
造林保育等	地拵	チェーンソー	チェーンソー
	下刈	草刈機	草刈機
	枝打	人力	リモコン自動枝打機

3 林産物の利用の促進のために必要な施設の整備に関する事項

本町における素材の生産流通・加工については、森林資源の成熟度が低いことから低迷しております。

木材の流通に対する施策としては、間伐材を中心にその計画的実行を図り、間伐材の商品化及び需要開発を検討し有効利用を目指します。また、脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律（平成 22 年法律第 36 号）に基づき、北海道が策定した「北海道地域材利用推進方針」（平成 23 年 3 月策定）に即して建築物等において積極的に木材、木製品を利用するほか、建築材をはじめ、木質バイオマスエネルギーへの活用など、幅広い用途での地域材の利用の促進と、地域材を低コストで安定的に供給するため、木材流通の合理化や木材産業の体質強化を推進するとともに、国内市場で最初に木材の譲受け等をする木材関連事業者の

取り扱う全ての木材が合法性確認木材となるよう、令和5年に改正された合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律（平成28年法律第48号）に基づき、木材関連事業者による合法性の確認等の実施及び合法性確認木材等の取扱数量の増加等の取組を着実に進めることとします。また、脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律（平成22年法律第36号）に基づき、北海道が策定した「北海道地域材利用推進方針」（平成23年3月策定）に即して建築物等において積極的に木材、木製品を利用するほか、建築材をはじめ、木質バイオマスエネルギーへの活用など、幅広い用途での地域材の利用の促進と、地域材を低コストで安定的に供給するため、木材流通の合理化や木材産業の体質強化を推進するとともに、国内市場で最初に木材の譲受け等をする木材関連事業者の取り扱う全ての木材が合法性確認木材となるよう、令和5年に改正された合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律（平成28年法律第48号）に基づき、木材関連事業者による合法性の確認等の実施及び合法性確認木材等の取扱数量の増加等の取組を着実に進めることとします。

特用林産物のうち本町の特産品のひとつであるシイタケについては、目名地区において生産が積極的に行われてはいますが、いずれも個人経営で小規模であり、生産量はほぼ横ばいです。今後については、原木ほだ木の安定的供給、経営の共同合理化及び品質の向上を図り、販路の拡大に努め生産振興を図ることとします。

また、自然食品志向に着目し、これまで利用されなかった樹木や山菜等を地域の新たな資源として見直し利用方法を開発することにより地域特産品として育成を図ることとします。

4 その他必要な事項

魅力ある地域社会を構築することは、林業後継者の育成・確保のためにも必要なことです。

このため、定住拠点となる住宅、取付道路、上下水道等の社会資本整備等、生活環境の整備を推進することとします。

III 森林の保護に関する事項

第1 鳥獣害の防止に関する事項

1 鳥獣害防止森林区域及び当該区域内における鳥獣害の防止方法

エゾシカによる森林の被害状況等に応じ、被害を防止するための措置を実施すべき森林の区域及び当該区域内におけるエゾシカ被害防止の方法について、次のとおり定めます。

(1) 区域の設定

区域の設定対象とする森林は、「鳥獣被害防止森林区域の設定に関する基準について（平成28年10月20日付け28林整研第180号林野庁長官通知）」に基づき、エゾシカによる森林被害の状況等を把握できる全国共通のデータ及び、エ

ゾシカ被害マップデータ等に基づき、食害や剥皮等の被害がある森林又はそれら被害がある森林の周辺に位置し被害発生のおそれがあるなど、エゾシカによる被害を防止するための措置を実施すべき森林を林班単位で別表3のとおり定めます。

また、区域は必要に応じ、試験研究機関の論文等の文献、森林における各種調査、地域住民等からの情報その他、エゾシカによる森林被害又は生息情報により補正することとします。

(2) 鳥獣害の防止の方法

森林の適確な更新及び造林木の確実な育成を図るため、次のとおり、エゾシカによる被害の防止に効果を有すると考えられる方法により、次のア又はイに掲げるエゾシカ防止対策を地域の実情に応じ単独で又は組み合わせ推進するとともに被害防止対策については、特に人工植栽が予定されている森林を中心に推進することとします。

なお、アに掲げる防護柵については改良等を行いながら被害防止効果の発揮を図るよう努めるとともに、エゾシカ防止対策の実施に当たっては鳥獣保護管理施策や農業被害対策等と連携・調整することとします。（関連計画：北海道エゾシカ管理計画、鳥獣被害防止計画）

特に、生息密度が高い地域においては巡回などにより被害状況等森林の状態を適確に把握し、被害が発生し又はそのおそれのある森林については森林組合、林業事業者等の関係機関と連携し、適切な鳥獣害防止対策を早期に行うよう努めることとします。

ア 植栽木の保護措置

防護柵の設置又は維持管理、忌避剤散布や幼齢木保護具の設置、枝条巻き、剥皮防止帯の設置、現地調査等による森林のモニタリング・巡視等を実施します。

イ 捕獲

わな捕獲（ドロップネット、くくりわな、囲いわな、箱わな等によるものをいう）、誘引狙撃等の銃器による捕獲等を実施します。

2 その他必要な事項

鳥獣害防止森林区域においては、エゾシカの被害防止対策が適切に実施されているかどうかを現地調査や各種会議での情報交換、林業事業者や森林所有者等からの情報収集等を行うこと等により確認することとします。

また、食害の生じるおそれのある地域については、造林樹種の選定にあたりアカエゾマツ等の嗜好性の低い樹種の植栽を検討することとします。

第2 森林病虫害の駆除及び予防、火災の防除その他の森林の保護に関する事項

森林の保護等については、適切な間伐等の実施、保護施設等により、病虫害、鳥獣害、寒風害、山火事等の森林被害に対する抵抗性の高い森林の整備に努めるとともに、日常の管理を通じて森林の実態を的確に把握し、次の事項に考慮して適時適切に行うこととします。

特に現在・過去において諸被害にあった場所においては、同一樹種、同一林齢の人工林を大面積に造成することを避け、多様な樹種・林齢による人工林の造成や、天然

林をバランスよく残すこと等により被害のリスクの低減を図ることとします。

1 森林病虫害等の駆除及び予防の方法

(1) 森林病虫害等の駆除及び予防の方針及び方法

森林病虫害については、被害の早期発見及び早期防除に努め、当該病虫害の種類や被害の程度に応じ、薬剤の塗布、被害木の伐倒・整理など適切な方法により防除を行うものとします。

なお、森林病虫害のまん延のため緊急に伐倒駆除する必要がある場合等については、伐採の促進に関する指導等を行う場合があります。

(2) その他

森林病虫害の被害の早期発見、早期防除のため、当町と北海道後志総合振興局、森林組合、その他林業関係者が連携して対応します。

2 鳥獣害対策の方法（第1に掲げる事項を除く）

ア エゾヤチネズミによる食害の発生を防ぐため、カラマツ植栽地においてはネズミの生息場所となる枝条のたい積を避けるとともに、可能な場合は耐鼠性の高い樹種を植栽するなどの対策を行います。

また、ネズミの発生動向も踏まえ、必要に応じて殺鼠剤の散布や防鼠溝の設置などの対策を実施することとします。

イ 鳥獣害防止森林区域外のエゾシカ及びその他野生鳥獣による被害については、その早期発見に努めるとともに、試験研究機関等と連携し、発生原因の究明及び防除技術の開発等を行い早期防除に努めることとします。

ウ 森林の保護に当たっては、森林組合、林業事業者等の関係機関及び地域住民との一層の協力のもとに、必要に応じて、野生鳥獣の生息環境となる針広混交の育成複層林や天然生林に誘導する等、野生鳥獣との共存に配慮した対策を適切に推進することとします。

3 林野火災の防除の方法

山火事等の森林被害を未然に防止するため、林内歩道等の整備を図りつつ、森林巡視、山火事警防等を適時適切に実施するとともに、防火線・防火道等の整備を推進することとします。

また、春先の乾燥時期には、森林巡視を強化するほか、森林の保護及び管理を要する重点地域を設け、効果的な防火線・防火道等の整備や保護標識の施設を設置することとします。

4 森林病虫害の駆除等のための火入れを実施する場合の留意事項

蘭越町火入れに関する条例に基づき、許可を受けて実施するものとします。

5 その他必要な事項

(1) 病虫害の被害を受けている等の理由により伐採を促進すべき林分
該当林分なし

なお、病害虫のまん延のために緊急に伐倒駆除する必要がある場合等については、伐採の促進に関する指導を行うことがあります。

(2) その他

ア 気象害については、過去の被害事例を参考に保護樹林帯を設けるなどの防止対策に努めることとします。

イ 森林の巡視にあたっては、民有林の中で、森林レクリエーションのための利活用者が特に多く、山火事等の森林被害が多発するおそれのある地域を重点的に実施することとし、特に森林法違反行為の未然防止、山火事の防止、森林の産物の盗採等の防止、森林被害の早期発見等を重点的な点検事項とします。

また、自然公園や自然環境保全地域、鳥獣保護区等の区域、貴重な野生生物の生息、生育地域、盗採等の違反行為のおそれがある地域、利用者の入り込みが多い地域、山火事等の発生が懸念される地域等においては、林野災害予消防監視員、森林保全推進員、森林保全巡視指導員、自然保護監視員、鳥獣保護員、林業関係者等が相互に連携して、巡視活動並びに利用者への指導を行うこととします。

IV その他の保健機能の増進に関する事項

該当なし

V その他森林の整備のために必要な事項

1 森林経営計画の作成に関する事項

森林所有者等が森林経営計画を作成し、計画に基づいた施業を実施することは、当町森林整備計画の達成に寄与することにつながることから、森林所有者等に対する制度の周知、作成に係る支援などにより計画の作成を推進します。

森林経営計画の作成にあたっては、次の事項について適切に計画するものとします。

- (1) IIの第2の3の植栽によらなければ適確な更新が困難な森林における主伐後の植栽
- (2) IIの第4の公益的機能別施業森林の施業方法
- (3) IIの第5の4の森林経営管理制度の活用に関する事項
- (4) IIの第6の3の森林の経営の受委託等を実施する上で留意すべき事項及びIIの第7の3の共同して森林施業を実施する上で留意すべき事項
- (5) IIIの森林病害虫の駆除又は予防その他森林の保護に関する事項

2 生活環境の整備に関する事項

特になし

3 森林の整備を通じた地域振興に関する事項

国内で北限に位置するブナ林やニセコ・積丹小樽海岸国定公園区域内のニセコ連峰散策等のグリーンツーリズムによる地域振興を検討します。

4 森林の総合利用の推進に関する事項

森林とふれあいの場としての整備が期待されていることから、景観を維持するため

に広葉樹を中心とした植栽を行うとともに、キャンプ場、管理施設、遊歩道等の施設の整備を行うこととします。

5 住民参加による森林の整備に関する事項

(1) 地域住民参加による取組みに関する事項

森林に対する住民のニーズは高度・多様化しており、住民の理解と協力の下、地域住民や都市住民のニーズに応えた多様な森林整備を推進していくことが必要です。また、様々な体験活動を通じて森林と関わる形での森林利用への期待が高まっていることから、森林所有者等の理解と協力を得ながら、開かれた森林を確保しその整備を進めるとともに、森林環境教育や健康づくり等の森林利用を推進していくこととします。

【主な取組み】

①漁業者など広く住民参加による林業体験活動の推進（枝打ち、植樹）

②親子を対象とした「森林環境教育」の推進

(2) 上下流連携による取組みに関する事項

特になし

(3) その他（青少年の学習機会の確保に関する事項）

小中学校の教育課程に導入された「総合的な学習の時間」等を活用し、森林に関する学習機会の確保や森林について学ぶことができる場所の整備等、青少年の学習機会の確保を図ります。

6 その他必要な事項

(1) 特定保安林の整備に関する事項

特定保安林は、指定の目的に即して機能していないと認められる保安林です。

その整備に当たっては、間伐等の必要な施業等を積極的かつ計画的に推進し、当該目的に即した機能の確保を図るものとします。

特に、造林、保育、伐採その他の施業を早急に実施する必要がある森林については、「要整備森林」とし、森林の現況等に応じて、必要な施業の方法及び時期を明らかにしたうえで、その実施の確保を図るものとします。

なお、「要整備森林」は、地域森林計画において指定されます。

(2) 法令により施業について制限を受けている森林の施業方法

該当する法令に基づいて施業を行い、制限林が重複して指定されている場合は、制限が強い方の施業方法に基づいて行うよう留意します。

ア 保安林及び保安施設地区の区域内の森林

保安林及び保安施設地区の施業方法に係る一般的留意事項は、次のとおりです。

なお、保安林及び保安施設地区の施業方法については、個々に指定施業要件が定められていますが、制限の決定及び立木伐採の許可等の処理は、保安林制度の一環として行われますので、留意が必要です。

ア 主伐の方法

(ア) 伐採できる立木は、市町村森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとします。

(イ) 伐採方法は、次の3区分とします。

- ・ 伐採方法の指定無し（皆伐を含む）
- ・ 択伐（伐採区域内の立木を均等な割合で伐採するもの）
- ・ 禁伐（全ての立木の伐採を禁止するもの）

イ 伐採の限度

(ア) 皆伐面積の限度は、森林法施行令第4条の2第3項の規定に基づき公表される面積の範囲内とします。

(イ) 一箇所当たりの皆伐面積の限度は、次のとおり指定施業要件に定められています。

a 水源涵養保安林（ただし、急傾斜地の森林及び保安施設事業の施行地等の森林その他森林施業上これと同一の取り扱いをすることが適当と認められる森林に限る。）については、20を超えないこととします。

b 土砂流出防備、飛砂防備、干害防備及び保健の各保安林については、10以下とします。

c その他の保安林であって、当該森林の地形、気象、土壌等の状況を勘案し、特に保安機能の維持又は強化を図る必要があるものについては、20を超えないこととします。

(ウ) 防風・防霧保安林については、標準伐期齢以上である部分を幅20m以上にわたり带状に残存させなければなりません。

(エ) 択伐の限度は、当該森林の立木材積に択伐率を乗じて得られる材積を超えないものとします。

(オ) 初回の択伐率は、指定施業要件に定められている率とします。

また、2回目以降の択伐率は、伐率をしようとする当該森林の立木の材積から前回の択伐直後の当該森林の立木の材積を減じて得た材積を伐採しようとする当該森林の材積で除して算出し、この率が10分の3を超えるときは10分の3（指定施業要件で定められた条件を満たす場合には10分の4）とします。

ウ 特例

(ア) 伐期齢の特例の認められている保安林は、標準伐期齢に達していなくても伐採することができます。

(イ) 伐採方法についての特例は、択伐と定められている森林にあつては伐採指定なし、同じく禁伐と定められている森林にあつては択伐とします。

(ウ) 特例のは、指定10年以内とします。

エ 間伐の方法及び限度

(ア) 間伐をすることができる箇所は原則として、樹冠疎密度が10分の8以上の箇所とします。

(イ) 間伐の限度は、該当森林の立木材積の100分の35を超えない範囲で、指定施業要件に定められた率とします。

オ 植栽の方法及び期間

(ア) 伐採跡地への植栽は、当該箇所に指定施業要件として定められた樹種及び本数

を均等に分布するように行わなければなりません。

(イ) 植栽は、伐採が終了した年度の翌年度の初日から起算して2年以内に行わなければなりません。

②自然公園特別地域内における森林

自然公園特別地域内における施業方法の決定は、表1の「特別地域内における制限」により行います。

表1

区分	制限内容
特別保護地区	特別保護地区内の森林は、禁伐とします。
第1種特別地域	<p>(1) 第1種特別地域内の森林は、禁伐とします。 ただし、風致の維持に支障のない場合に限り単木択抜法を行うことができます。</p> <p>(2) 単木択抜法は、次の規定により行います。 ア 伐期齢は、標準伐期齢に見合う年齢に10年以上を加えて決定します。 イ 択抜率は現在蓄積の10%以内とします。</p>
第2種特別地域	<p>(1) 第2種特別地域内の森林は、択抜法とします。 ただし、風致の維持に支障のない場合に限り皆伐法によることができるものとします。</p> <p>(2) 道路などの公園事業に係る施設、集団施設地区の周辺（造林地、要改良森林、薪炭林を除く）は、原則として単木択抜法によるものとします。</p> <p>(3) 伐期齢は、標準伐期齢に見合う年齢以上とします。</p> <p>(4) 択抜率は、用材林においては現在蓄積の30%以内とし、薪炭林においては60%以内とします。</p> <p>(5) 特に指定した風致木については、保育及び保護に努めることとします。 ア 一伐区の面積は、2ha以内とします。 ただし、疎密度3より多くの保護木を残す場合又は車道、歩道、集団施設地区、単独施設等の主要公園利用地点から望見されない場合、伐区面積を増大することができます。 イ 伐区は、更新後5年以上を経過しなければ連続して設定することはできません。この場合においても、伐区は努めて分散しなければなりません。</p>

第 3 種 特 別 地 域	第3種特別地域内の森林は、全般的な風致の維持を考慮して施業を実施し、特に施業の制限は設けないものとします。
------------------	---

③その他の制限林

その他の制限林における伐採方法については、表2のとおりとします。

表2

区 分	制 限 内 容
そ の 他 制 限 林	<p>(1) 原則択伐とし、伐採率は蓄積の30%とします。</p> <p>(2) 鳥獣保護区特別保護地区内の鳥獣の生息、繁殖又は安全に支障があると認められる森林については、択伐（その程度が著しいと認められるものについては禁伐）とします。</p> <p>(3) 次の砂防指定地内の森林については、皆伐を行うことができます。</p> <p>①伐採面積が1ha未満のもの</p> <p>②森林経営計画で皆伐として計画されたもの</p> <p>(4) 史跡・名勝又は天然記念物に指定されている区域（伝統的建造物群保存地区を除く。）においては禁伐とします。</p>

(3) 森林施業の技術及び知識の普及・指導に関する事項

地域の特性に応じた具体的な施業の方法に関して、森林組合等の林業事業者、北海道指導林家や青年林業士など地域の関係者の合意形成を図り、適切な方法による間伐等の森林整備が進むよう道の指導機関と連携した普及啓発を進めます。

別表1 公益的機能別施業森林及び木材等生産機能の維持推進を図る森林の区域

【一般民有林】

1 共通のゾーニング

区分	森 林 の 区 域		面積 ()
	林班	小 班	
水源養林	1	全域	6,962.40
	2	3, 7~13, 15~17, 19, 21~28, 108, 114~119, 140~145, 147~174, 176, 177, 183, 190, 191, 193~196, 200~203, 205, 206, 210~212, 214, 215, 218, 220~223	
	3	28, 30, 32, 34, 40	

4	1, 7, 8, 113, 132, 157, 168~176, 182
5	
6	
7	
8	1~12, 14~18, 20~34, 36, 37, 40, 42, 45, 47, 49~53, 59~63, 68, 69, 73, 75~79, 81~106, 110, 112, 113, 116~119, 121, 122 124~129, 134~138, 140~143, 145, 152, 155, 156, 166, 168, 170, 173, 177~181, 183~185, 187, 192
9	2, 4, 12, 112~116, 120, 121, 139~142, 144, 145, 154, 193, 199, 211~214
10	
11	111, 114, 116, 117, 120, 121,
12	
13	
14	1~30, 32~34, 36, 38, 39, 41~45, 48~58, 60~67, 72~91, 97, 99~105, 107, 108, 110, 111
15	
16	
17	
18	20, 32, 35, 37, 65, 70, 77~81, 83, 84, 101~110, 112~116
19	
20	全域
21	
22	
23	93, 156
24	31~42, 44, 45, 87, 89, 91, 96, 98, 101, 114, 125, 139, 140, 145, 146
25	42, 106, 107
26	70, 98, 99, 118
27	8, 11, 23, 24, 28~30, 32, 67~72, 75~83, 87, 93
28	20, 39, 41, 42, 193, 194
29	14, 20, 181
30	21, 29~32, 34, 35, 70, 75, 77, 78, 80~89, 106, 108, 112~114 121
31	10, 76, 103, 104, 109~112, 114~120, 123 を除く 全域
32	
33	
34	43, 52, 87, 88, 98, 113, 115, 154
35	40, 41, 45
36	5, 15, 16, 18, 20, 21, 27, 29~38, 47~50, 58
37	
38	
39	14, 17, 18, 20~23, 35, 38, 40, 52, 56, 71~74, 81
40	
41	

42	
43	33~35, 138
44	7~11, 28, 30
45	全域
46	
47	30~32, 34~36, 43
48	全域
49	全域
50	1~13, 15~25, 27, 33, 34, 37~40, 47~67
51	6, 11, 21, 34, 39~43, 48~50, 68, 69, 73, 74, 76, 100, 103, 123, 124, 127~131, 133~135
52	12~14, 25, 60, 61, 64, 66
53	
54	42, 43, 109, 112~114
55	1~5, 7, 10~20, 26~33, 35~38, 40~44, 47, 50, 52, 53, 56~63, 69~79, 82~84
56	30~34, 50, 52, 101~103, 106, 107
57	21~24 を除く全域
58	1~5, 7, 9, 12, 13, 16, 17, 19, 22, 23, 25~27, 29~35, 37, 44~50, 53~56, 66, 71~79
59	14, 15, 39 を除く全域
60	
61	1, 6, 11, 20, 21, 23, 29~37, 39~41, 45, 47, 54, 58, 66~77, 79~81, 94, 95, 100, 102~104, 111, 113~119
62	全域
63	15, 16, 42 を除く全域
64	全域
65	15~17, 19~32, 34~36, 40
66	1
67	56 を除く全域
68	19, 40, 47, 48, 50, 63~71, 73~77, 79~82, 90, 91, 93, 94, 100, 101, 124~126, 133, 135
69	23~50, 58, 60, 67, 69
70	3, 7~10, 14~17, 19, 21, 22, 24~35, 37~44, 47, 69, 70, 73~75, 77, 82, 85, 86, 88, 90~94
71	
72	
73	
74	
75	
76	1, 2, 14, 23, 24, 35~37, 44, 49~53, 56, 57, 59~61, 67, 70, 71, 73, 76~81, 94, 95, 97, 98, 103, 104, 106, 110, 111, 115, 118, 120~131, 135, 137~140, 142~145, 147~156, 159, 162, 166, 171~173, 175, 176, 180
77	1, 3, 45, 51, 92, 101, 102, 106, 109, 110
78	
79	9, 11~13, 17~20, 41, 50, 54~56, 58, 104, 108

	80	10, 65, 68, 71, 77, 79, 80, 84			
	81	48, 52			
	82	全域			
区分	森 林 の 区 域		面積 ()		
	林班	小 班			
山地災害防止林	4	2~4, 6, 16, 55, 64, 68, 83, 89, 115~122, 130, 133, 134, 139, 153~156, 159~161	717.33		
	5	15, 20, 73, 77, 90, 92, 94~96, 98~100, 133, 134			
	6	5, 6, 131			
	7	5, 17, 18, 22, 23, 102			
	8	146~150			
	9	88, 149~153			
	11	53			
	14	92~96			
	15	296, 297			
	16	13, 276			
	21	162, 165~180, 182, 183, 185, 205			
	22	12, 71, 106, 112, 113			
	23	30, 89, 96, 100, 105			
	24	43, 97, 99, 102, 103, 109, 110, 113, 123, 126, 127			
	25	33, 40, 71			
	26	10			
	30	3, 18, 19, 50, 53, 59~68, 90, 91, 93, 98, 105, 115			
	31	10, 76, 103, 104, 109~112, 114~120, 123			
	34	1, 40, 44~49, 56, 57, 66, 89, 99, 119, 156			
	35	34, 36, 37, 42~44, 46, 47, 49, 179			
	37	134~136			
	42	142~154, 1151, 1152			
	43	145, 146			
	44	12~14, 21, 31~33, 35, 36			
	50	41~46			
	51	23, 24, 37, 38, 59, 62, 64, 104, 106, 107, 113~116, 126			
	53	86, 96~98, 103			
	54	34, 86, 87, 108, 115			
		55		45, 46, 51, 54, 55, 64~67, 80	
		56		44, 69, 71~73	
		58		6, 8, 10, 11, 15, 21, 24, 28, 36, 38~43, 51, 52, 57~59, 63, 65, 67~70	
61		3, 12~16			
65		38, 39			
77		42, 43, 114			
79		105, 106			
81	35~37, 39, 41, 87, 88				
区分	森 林 の 区 域		面積 ()		
	林班	小 班			

生活環境保全林	2	1, 2, 4~6, 18, 224	45.59
	58	14, 18, 20, 62, 64	
	59	14, 15, 39	
	61	48, 64, 65, 101	
区分	森 林 の 区 域		面積 ()
	林班	小 班	
保健・文化機能等維持林	11	84, 97	291.09
	25	2, 4~6, 9~14, 17, 19~21, 26, 28~30, 35~37, 43, 45~48, 50, 51, 53, 54, 58~65, 69, 70, 72, 73, 75, 76, 78, 79, 81~86, 88, 90, 91, 93~96, 99, 101, 104, 108~112	
	27	7, 10, 13~20, 22, 25, 33, 34, 48~55, 57~59, 62, 86, 88, 89, 91, 92, 99	
	28	29, 31, 36, 37, 43~46, 48, 49, 52, 54, 55, 61, 67~75, 77, 78, 79, 82~85, 101, 103, 104, 110, 112~122, 125~127, 129, 144~146, 148~151, 167, 169, 187, 188, 190~192, 1061	
区分	森 林 の 区 域		面積 ()
	林班	小 班	
木材等生産林	2	29~38, 40~46, 48~55, 57~63, 65, 67, 68, 72~77, 80~87, 89~93, 95, 97, 101, 102, 106, 123, 124, 128, 136, 138, 139, 175, 178~182, 184~186, 204, 216, 217, 219	14,405.44
	3	28, 30, 32, 34, 40 を除く全域	
	4	1~4, 6, 16, 55, 64, 68, 83, 89, 115~122, 130, 133, 134, 139, 153~157, 159~161, 168, 170~173, 175, 176, 182 を除く全域	
	5	15, 20, 73, 77, 90, 92, 94~96, 98~100, 133, 134 を除く全域	
	6	5, 6, 131 を除く全域	
	7	5, 17, 18, 22, 23, 102 を除く全域	
	8	11~13, 16, 18~27, 38, 41, 43, 44, 46, 48, 49, 53~56, 58, 64~67, 70~72, 80, 87, 96, 107~109, 114, 115, 119, 120, 129, 136, 137, 140~144, 151, 153, 155, 157~165, 167, 169, 171~176, 182, 186~191	
	9	88, 149~153 を除く全域	
	10	全域	
	11	53, 84, 97, 111, 114, 116, 117, 120, 121 を除く全域	
	12	全域	
	13	全域	
	14	31, 35, 37, 40, 46, 47, 59, 68~75, 78, 79, 109, 110, 122	
15	296, 297 を除く全域		
16	13, 276 を除く全域		
17	全域		
18	20, 32, 35, 37, 65, 70, 77~81, 83, 84, 101~110, 112~116 を除く全域		
19	全域		
21	162, 165~180, 182, 183, 185, 205 を除く全域		
22	12, 71, 106, 112, 113 を除く全域		
23	30, 89, 93, 96, 100, 105, 156 を除く全域		

24	31~45, 87, 89, 91, 96~99, 101~103, 109, 110, 113, 114, 123, 125~127, 139, 140, 145, 146 を除く全域
25	1, 3, 7, 8, 16, 18, 22~24, 27, 31, 32, 34, 38, 39, 41, 42, 56, 57, 67, 68, 74, 77, 80, 92, 97, 98, 100, 102, 103, 105
26	10, 70, 98, 99, 118 を除く全域
27	1~6, 9, 12, 21, 26, 27, 31, 35~47, 56, 60, 61, 63, 64, 66, 73, 74, 84, 85, 90
28	2, 6, 7, 9~11, 13, 14, 16~19, 22, 24~28, 30, 32, 33, 38, 40, 56~60, 62~66, 76, 80, 87, 89~95, 97~100, 102, 105~109, 111, 123, 124, 130~143, 147, 153, 154, 156, 161~166, 168, 170~172, 189
29	14, 20, 181 を除く全域
30	1, 2, 4~14, 16, 17, 20, 22~28, 36~49, 51, 52, 54~58, 69, 71~74, 76, 79, 92, 94~97, 99~104, 109~111, 116~120
32	全域
33	全域
34	1, 40, 43~49, 52, 56, 57, 66, 87~89, 98, 99, 113, 115, 119, 154, 156 を除く全域
35	34, 36, 37, 40~47, 49, 179 を除く全域
36	5, 15, 16, 18, 20, 21, 27, 29~38, 47~50, 58 を除く全域
37	134~136 を除く全域
38	全域
39	14, 17, 18, 20~23, 35, 38, 40, 52, 56, 71~74, 81 を除く全域
40	全域
41	全域
42	142~154, 1151, 1152 を除く全域
43	33~35, 138, 145, 146 を除く全域
44	7~14, 21, 28, 30~3, 35, 36 を除く全域
45	1, 4~9, 11, 13, 14, 16, 18, 30~40, 43~46, 48, 49, 51, 54, 56
46	全域
47	30~32, 34~36, 43 を除く全域
48	4, 12~15, 19, 20, 22, 24, 26~35, 37, 49, 71~73, 83~86 を除く全域
49	10, 15, 17, 26, 27, 29, 62, 64~68, 82, 108~112, 116~126 を除く全域
50	1, 4, 11, 13, 15~17, 20~25, 27~38, 47, 49, 51, 52, 56~62, 64~67
51	6, 11, 21, 23, 24, 37, 38, 43, 48~50, 59, 62, 64, 68, 69, 73, 74, 76, 100, 103, 104, 106, 107, 113~116, 123, 124, 126, 127, 129~131, 133~135 を除く全域
52	12~14, 25, 60, 61, 64, 66 を除く全域
53	86, 96~98, 103 を除く全域
54	34, 86, 87, 108, 115 を除く全域
55	5, 7, 12, 14, 26, 28~33, 35, 37, 38, 40~42, 44~46, 51~55, 57, 58, 62, 64~67, 69, 71, 74, 80, 84 を除く全域
56	30~34, 44, 50, 52, 69, 71~73, 101~103, 106, 107 を除く全域

57	21~24		
58	19, 29~34, 37, 44~50		
60	全域		
61	2, 4, 5, 7~10, 17~19, 22, 24~28, 38, 42, 43, 46, 49~53, 55~57, 59~63, 78, 82~93, 96, 98, 99, 112, 120~123		
63	15, 16, 42		
65	1, 3~13, 37		
66	1 を除く全域		
67	7, 39, 40, 53, 58, 59 を除く全域		
68	19, 40, 47, 48, 50, 63~71, 73~77, 79~82, 90, 91, 93, 94, 100, 101, 124~126, 133, 135 を除く全域		
69	全域		
70	1, 2, 4~6, 11~13, 18, 20, 23, 45~51, 53~60, 63~68, 72, 79, 81, 83, 84, 87, 95		
71	全域		
72	全域		
73	全域		
74	全域		
75	全域		
76	1, 2, 14, 23, 24, 35~37, 44, 49~52, 56, 57, 59, 60, 67, 71, 76, 79~81, 94, 95, 97, 98, 103, 104, 106, 110, 111, 115, 118, 121~123, 135, 137~140, 145, 150~153, 159, 166, 172, 176, 180 を除く全域		
77	1, 3, 42, 43, 45, 51, 92, 101, 102, 106, 109, 110, 114 を除く全域		
78	全域		
79	9, 11~13, 17~20, 41, 50, 54~56, 58, 104~106, 108 を除く全域		
80	10, 65, 68, 71, 77, 79, 80, 84 を除く全域		
81	35~37, 39, 41, 48, 52, 87, 88 を除く全域		
特に効率的な施業 が可能な森林	2	31, 32, 35~37, 42, 43, 49, 51, 52, 55, 57, 59, 73~75, 77, 80~83, 86, 97, 178, 179, 181, 182, 184~186	4, 642. 67
	3	2, 7, 8, 12, 14, 16, 17, 20, 24, 31, 36~39, 41, 42, 46	
	4	5, 14, 15, 18, 19, 22, 30, 34, 42, 43, 45, 47, 48, 50, 52, 53, 58, 61~63, 65, 70, 72, 76, 78, 80, 81, 84, 103, 106, 108, 110, 112, 124, 126, 127, 129, 131, 136~138, 141~148, 150~152, 158, 162~166, 174, 177~180, 184, 185	
	5	1~4, 5, 9~12, 14, 26, 40, 41, 51, 53, 55, 58, 59, 61~71, 75, 82~84, 93, 101~104, 107~110, 112, 113, 132	
	6	1, 4, 10~16, 19, 26, 34, 46, 49, 50, 61, 62, 67, 94, 95, 97, 99, 114, 117, 121~123, 125, 126, 128, 130, 132, 133, 141, 153, 157, 162~166, 168~171, 174, 179, 181~186, 190~193, 198~200	
	7	3, 12, 13, 19, 20, 27, 28, 31, 32, 100, 101	
	8	12, 13, 20, 22, 44, 49, 53, 56, 64~67, 70~72, 80, 115, 119, 120, 129, 136, 137, 140~143, 151, 153, 155, 157, 159, 165, 169, 171, 173~175, 186	
	9	2, 3, 7, 12, 16~21, 24~30, 33~35, 37, 41, 43, 44, 47, 50, 51, 54, 55, 58, 59, 64, 65, 67, 73, 75~79, 84, 94, 97, 99~116, 118~122,	

			124~126, 136~138, 141, 145, 146, 148, 155~166, 168, 170, 172, 193, 194, 196~201, 204, 205, 209, 210, 212~218
		10	2, 4, 13, 17, 23~27, 34, 35, 58, 64, 79~82, 84~86, 90, 105~107, 109~112, 116, 121, 126, 131, 133, 137, 141, 143, 153, 157, 171, 192, 194, 207, 210~214, 216, 217, 219, 223~228
		11	1, 2, 4, 6~9, 12, 14, 39, 47, 67, 68, 72, 75~77, 85, 86, 91, 99, 100, 108~110, 127, 128, 132, 133, 135, 138~145, 150, 151, 161~164, 167~174, 176
		12	1, 4, 8, 10, 11, 13, 35, 39, 48, 56, 65, 66, 68~70, 72, 80, 83, 84, 86, 93, 96, 98, 99, 101, 106, 108~112, 114~120, 123, 124, 127~133, 135, 137~140, 142~144, 146, 148, 149, 151~154, 164, 175~177, 183, 185~187, 211, 227, 229, 233, 235, 239, 240, 249~251, 259~261, 265, 268, 269, 271, 272, 274~276, 279~284, 288~297
		13	1, 3, 6, 7, 9, 16, 18~21, 23~25, 29~33, 37, 39, 40, 43, 44, 46, 47, 49, 50, 53, 54, 56, 57, 61, 63, 64, 67, 68, 70~73, 75, 77, 80, 83, 84, 87, 89, 90~93, 96, 99, 109~111, 114~117, 121, 122, 132, 134
		14	31, 37, 59, 122
		15	1, 2, 5, 7, 8, 12~14, 19, 26, 29, 30, 34, 46, 47, 49, 52, 59, 60, 62, 63, 65, 68, 69, 73~75, 78, 81, 84, 86, 87, 90, 100, 110, 113, 120, 125, 126, 129, 141, 142, 144, 146, 149, 151, 153, 166, 168, 170, 172~185, 189~192, 194, 195, 201, 202, 209~214, 217~222, 225, 229, 232, 235, 240~244, 249, 250, 258, 259, 261, 268, 269, 271, 275, 277, 281~289, 291~295, 298~303, 306, 307, 309, 310, 312~314
		16	5, 7, 9, 11, 12, 16, 18, 21, 27, 28, 31, 33, 36, 43, 46, 51, 59, 63, 65, 68, 69, 71, 72, 79, 90, 92, 95, 100, 109~114, 121, 123, 127~144, 146~151, 154, 158~160, 162, 164, 167~169, 172~177, 179~183, 215, 223, 225, 232, 243~247, 253, 255~262, 264, 265, 268~270
		17	1, 3, 4, 34, 69, 98, 99, 103, 117, 119, 125~127, 129, 131, 134, 144, 149, 152, 158, 161, 174, 179, 181, 183~185, 187~190, 192, 193, 195~198, 205~207, 209, 210, 213, 214, 222~229, 231~233
		18	7, 13, 15, 18, 29, 30, 38, 60, 64, 73~75, 117, 118
		19	8, 10~12, 16, 23, 25, 29, 34, 35, 47, 59, 74, 77, 78, 81, 84, 87, 89~93, 99, 101, 103~105, 107~110, 117, 122~125, 127, 128, 133, 138, 140, 141, 146, 149~152, 154, 156, 157, 159~163, 165
		21	1, 2, 4~6, 8, 15, 19, 22~24, 26~30, 34, 36, 37, 41, 43~48, 51, 52, 56, 59, 61, 62, 65, 70, 74~76, 78, 82, 92~100, 112, 113, 115, 118~120, 123, 125, 126, 128~132, 135, 137~139, 141~144, 147~151, 153~160, 181, 184, 187, 190~204, 206~211, 213, 214, 219~222
		22	9, 13, 19, 20, 23~25, 29~32, 49, 54, 55, 60, 63, 65, 69, 72, 80, 82, 84, 89, 91, 99, 100, 102, 110, 111, 114, 116~118
		23	18, 23, 29, 35, 36, 40, 42~46, 49, 51, 55~57, 60~62, 75, 77, 78, 82, 88, 91, 98, 99, 101, 102, 104, 107, 110~112, 116~119, 121~123, 125~133, 135, 139, 141, 149, 165, 166, 168, 177, 183, 186,

	187, 191~195, 200~202, 205~207, 210, 212, 213, 216, 219, 221~226, 228, 231, 232, 234
24	3, 54, 58~60, 62, 64, 93, 95, 100, 118, 120, 124, 130, 134~138, 141
25	16, 34, 67, 74, 77, 98, 102, 105
26	3, 5, 19, 21, 23, 27, 29, 34, 41, 42, 45, 49, 51, 54, 55, 59, 62, 63, 75, 76, 79, 87, 89, 108, 110, 114~116, 119, 120, 122~125
27	63, 64
28	2, 6, 7, 13, 14, 16~18, 22, 25, 26, 32, 40, 63, 64, 66, 80, 94, 98, 99, 102, 105, 107, 108, 111, 133, 139, 142, 153, 154, 156, 161~166, 170~172, 189
29	2, 5, 6, 11, 21, 22, 31, 32, 35, 39, 51, 70, 71, 88~90, 92, 96, 100, 103, 105, 106, 109, 112, 114, 115, 117, 118, 128, 130~136, 140~145, 170, 174, 176~180, 184, 186, 190
30	1, 2, 4, 6, 8, 11, 16, 17, 23, 41, 43, 44, 46~48, 58, 73, 92, 99, 100, 109~111, 116~120
32	1, 2, 4, 6, 8, 11, 16, 17, 23, 41, 43, 44, 46~48, 58, 73, 92, 99, 100, 109~111, 116~120
33	3, 5~10, 12, 17, 18, 22~26, 32, 37~39, 45, 53, 54, 56~61, 63, 67, 69~78, 81~83, 86, 92, 94, 95, 98, 102, 105, 107~118, 129~131, 135, 139~141, 144, 147, 149, 150
34	3, 4, 6, 10~15, 18, 19, 21, 22, 25, 28, 30, 58, 59, 67, 69, 75, 78, 90~92, 94~97, 103~110, 112, 116, 117, 121, 130, 138, 140~149, 151, 158~163, 166, 167, 169, 173, 176~178, 186, 188, 190, 191
35	12, 16, 18, 23, 25~29, 31~33, 50, 51, 57, 63, 65, 77, 90, 94, 95, 99, 101~106, 109, 111, 112, 115~117, 120, 130~132, 134~138, 140, 145, 147, 153, 176, 177, 181~184, 189, 194
36	17, 23~25, 45, 60, 61
37	1, 4, 5, 7, 9, 12~15, 22, 24, 25, 30~33, 35, 37, 45, 47, 50, 53, 54, 56, 63, 65, 83, 86, 98, 100, 102, 127, 129, 139, 143, 146, 149, 153, 155
38	1, 9, 15, 16, 20, 25, 30, 40, 49, 51, 54~62, 69~72, 74~76, 79~82
39	78
40	3, 9, 13, 15, 16, 20, 22, 23, 25, 27, 28, 30, 35~38, 40, 42, 43
41	1, 5, 7, 8, 11, 15, 18, 20, 22, 24, 26, 27, 30, 33, 35~37, 39, 40, 48, 51~54, 62, 64, 70, 74, 76, 90~93, 96~99
42	1, 2, 4, 12, 14, 18, 19, 21, 23, 24, 26, 28, 31, 32, 34~36, 50~57, 64, 73, 77~80, 82, 85, 86, 89, 92, 93, 99, 101, 104, 108, 111~117, 119, 121, 124, 125, 130, 131, 136, 137, 139, 141, 156, 157, 159, 161, 164, 1024, 1031, 1034, 1104
43	1, 2, 4, 5, 7, 12, 17, 18, 24, 25, 28, 44, 46, 48, 52, 53, 56, 58, 60, 62, 64, 65, 68, 69, 87, 113~135, 140, 142, 147~149, 151, 157, 159, 160
44	2, 18, 20, 25
46	1, 2, 6~12, 15, 17~19, 25~28, 30, 39~41, 43, 44, 48~50, 52, 55,

	65, 68, 69, 71~75, 82~84, 86, 87, 89~91, 93, 97, 98, 104, 106, 107, 110, 116, 118~124, 126, 128, 129, 132, 133, 142, 144~146, 148
47	1, 4~6, 10, 11, 13, 15, 17~21, 23, 25, 27, 28, 33, 39~41, 44~46, 49, 56, 57, 59, 61, 63~66, 70, 72, 73
51	1, 5, 8, 9, 13, 15, 16, 19, 20, 22, 31, 33, 35, 75, 83, 84, 87, 88, 97, 98, 101, 102, 120~122, 125
52	1, 7, 10, 16, 23, 24, 29, 31~33, 35, 75, 83, 84, 87, 88, 97, 98, 101, 102, 120~122, 125
53	1, 4, 7, 8, 12, 16, 17, 19, 22, 25~27, 31, 32, 39, 41, 47, 50, 52, 54, 69, 72, 75, 78~80, 82, 93~95
54	10~12, 14, 17, 38, 39, 50, 51, 57, 59, 63, 66~72, 74, 75, 84, 88~95, 97, 100, 111, 116~119, 121
55	21, 24, 25, 34, 39, 86
56	3, 5~7, 9, 11, 12, 15, 27, 29, 37, 38, 67, 104
57	22, 23
60	1, 3, 6, 9, 10, 14, 16, 18, 19, 21, 30, 32~34, 38, 39, 46, 47, 53, 55, 61~63, 68, 69, 71~74, 79, 82, 91, 94, 95, 98~100, 102~105, 110~112, 115, 116, 122~124, 126~128, 130~133
61	2, 17~19, 22, 24~28, 42, 43, 49~53, 82~84, 86~89, 91~93, 96, 98, 99, 112, 120~123
63	15, 42
65	1, 3, 4, 9, 37
66	8, 11, 17, 18, 23, 24, 26, 27, 34, 36, 41, 43, 44, 46, 47, 53, 54, 56, 63, 65, 68, 72, 82, 84, 101, 102, 106, 110, 114, 116, 118, 120, 122, 124, 127, 130~133, 135, 137~139, 141, 148, 158, 161, 163~165, 168~170, 172, 173, 175, 176, 186~188, 191, 192, 194, 195, 198, 202, 204~206, 208~210, 212, 213
68	13, 26, 31~34, 39, 49, 96, 98, 99, 111, 114~116, 127, 129~132, 134, 136~140
69	51
70	5, 11, 12, 23, 54, 63, 68, 72, 79, 83, 84, 95
71	1, 3, 6~8, 11, 15, 16, 22, 31, 32, 34, 36~38, 40, 43~45, 47, 49, 50, 52, 55~57, 59, 61, 63~65, 67~76, 78, 79, 84, 89~91, 96, 107~118, 120, 121, 123, 126, 127, 130, 132~134, 136~138
72	4, 6, 8, 22, 25, 36, 39, 41, 45, 51, 52, 54, 57, 58, 61, 70~72, 77, 79, 81, 84, 85, 87, 97, 99~102, 104, 105, 108~110, 113, 114, 123, 126, 128, 130, 139, 147, 159, 164, 165, 167~170, 173, 174, 178, 179, 182, 184, 187~189, 192, 194~199
73	3, 6, 9, 10, 16, 27, 34, 36, 69, 70, 76, 79, 80, 90, 92~94, 102, 103, 106, 108, 112, 114, 123~126, 132, 134~136, 149, 157~160, 163, 167, 169~176, 185
74	3, 4, 8, 9, 15, 34, 35, 38, 45, 55, 58, 63, 69, 74, 79~82, 84~87, 90~100

	75	1, 9, 10, 12, 17, 18, 20, 22, 28, 32, 35, 39, 41, 47, 50, 51, 55, 61, 65, 66, 71~74, 77, 80~83, 85~89, 90, 91, 94~99, 101, 103~105, 109, 110
	76	6, 11, 13, 20, 31, 47, 48, 54, 55, 58, 66, 68, 74, 92, 99, 102, 109, 117, 119, 136, 146, 157, 158, 160, 161, 163, 169, 170, 178, 179
	77	4, 13, 16, 18, 19, 27, 28, 30, 33, 35, 38, 47~50, 53, 84~89, 93, 94, 96, 98, 99, 103~105, 107, 108, 111, 113, 115~118, 120, 125
	78	1, 3, 8, 10, 11, 16~19, 31, 34, 39, 46, 51, 55, 56, 59, 61~65, 83, 84, 88, 89, 93, 96, 104, 105, 108, 113, 114, 120~122, 124~126, 129~131, 133, 134, 144, 145, 147~154, 156~161
	79	7, 27, 31, 32, 36, 38, 39, 45, 47, 49, 51, 52, 57, 61, 102, 107, 110~117, 119
	80	2~4, 7, 8, 12, 14, 27, 38, 52, 54~60, 62, 69, 72, 73, 76, 78, 81~83, 85, 102, 110~118, 121
	81	2~5, 7, 8, 14, 17, 22~24, 27, 86

2 上乗せのゾーニング

該当なし

【道有林】

1 共通のゾーニング

区分	森 林 の 区 域		面積 ()
	林班	小 班	
水源養林	69	1~3	9,434.27
	70	1~4, 6, 31, 32, 51, 52	
	71	1, 2, 5	
	72	全域	
	73	全域	
	74	1~3	
	75	1, 3, 4, 31, 51~57, 60, 61, 98	

76	1, 3, 7, 8, 31~33, 51~63, 66, 98		
77	1, 2, 13, 31~35, 51, 52, 54, 56, 57		
78	4, 6, 9, 31~33, 51, 52, 56, 57		
79	2, 5, 31~34, 51, 52		
80	2, 4, 12, 17, 31, 41~43, 48, 51~60		
81	1~4, 7, 41~43, 48, 51~55, 57		
82	1~5, 31, 40, 48, 51~54		
84	1, 2, 7, 12~15, 18, 31, 32, 34, 39, 41~45, 48, 51~53, 55, 60, 62~66		
85	6, 9, 10, 31~33, 36, 37, 41, 51, 52		
86	1, 5, 7~10, 31, 36~40, 51~55		
87	1, 5~7, 31~38, 41, 42, 53~59, 64		
88	6~8, 31, 33, 41, 48, 51, 52, 54~64		
147	2, 13, 95		
148	1, 3, 5		
149	全域		
150	全域		
151	全域		
152	全域		
153	57を除く全域		
154	全域		
160	1, 4		
161	1~3, 5		
162	51を除く全域		
164	1, 2, 31, 32		
165	6, 7, 9, 11~13, 15, 31, 32, 54, 59		
166	1~3		
167	2, 3, 5, 6, 31, 48, 55, 98		
168	2, 48		
169	2~7, 31, 57~62, 95		
171	全域		
172	全域		
区分	森林の区域		面積 ()
	林班	小 班	
山地災害防止林	69	51	1, 213. 52
	70	53~62	
	71	52, 53	
	74	51, 52	
	75	62, 63	
	76	41, 64, 65	
	77	41, 42, 53, 59~62	
	78	41~43, 53~55	
	79	40, 41, 53	

	81	44	
	83	1, 9, 10, 12~17, 32, 35~37, 40~49, 51~55	
	84	46, 47, 49, 67	
	85	42~44	
	86	41~44	
	87	43, 44, 51, 60~63	
	88	65~68	
	147	51	
	153	57	
	159	10	
	162	51	
	165	51~53, 55~58, 60~72	
	166	51~53, 55~64	
	167	11	
	169	11, 40, 41, 52	
	170	40, 41, 51, 58	
生活環境保全林		該当なし	
保健・文化機能等維持林	148	4	4,689.13
	155	全域	
	156	全域	
	157	全域	
	158	全域	
	159	全域	
	160	5	
	161	4	
	163	全域	
	164	3	
	165	14	
	166	4	
	167	1	
	168	1, 47	
	169	1	
	170	全域	
	171	1~4, 51, 95	
	172	1~3, 51, 52, 97	
	173	全域	
区分	森林の区域		面積()
	林班	小 班	
木材等生産林	76	58, 60	244.06
	77	56	
	80	51, 52, 54	
	81	51~55, 57	
	84	62, 65	

	87	55~57	
	88	51, 52, 54~59	
特に効率的な施業 が可能な森林		該当なし	

2 上乘せのゾーニング

区 分	森 林 の 区 域		面積 ()
	林班	小 班	
水資源保全ゾーン	171	全域	685.07
	172	全域	
生物多様性保全ゾーン			
水辺林タイプ		該当無し	
保護地域タイプ	148	4	2,527.47
	156	9, 32, 33	
	158	1, 3, 4, 31	
	159	5, 7, 9	
	160	5	
	161	4	
	163	1	
	164	3	
	165	14	
	166	4	
	167	1	
	168	1, 47	
	169	1	
	170	1, 2	
	171	1, 2	
172	1, 2, 97		
173	1~3, 46		

別表2 森林施業の方法を特定すべき森林の区域

【一般民有林】

区分	施業の方法	森林の区域		面積 ()	森林経営計画における主な実施基準 (参考) (注1)
		林班	小班		
水源の養の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林 (水源養林)	伐期の延長を推進すべき森林	1	全域	6,962.40	主伐林齢：標準伐期齢+10年以上 皆伐面積：20以下
		2	3, 7~13, 15~17, 19, 21~28, 108, 114~119, 140~145, 147~174, 176, 177, 183, 190, 191, 193~196, 200~203, 205, 206, 210~212, 214, 215, 218, 220~223		

	3	28, 30, 32, 34, 40	
	4	1, 7, 8, 113, 132, 157, 168~176, 182	
	8	1~12, 14~18, 20~34, 36, 37, 40, 42, 45, 47, 49, 50~53, 59~63, 68, 69, 73, 75~79, 81~106, 110, 112, 113, 116~119, 121, 122, 124~129, 134~138, 140~143, 145, 152, 155, 156, 166, 168, 170, 173, 177~181, 183~185, 187, 192	
	9	2, 4, 12, 112~116, 120, 121, 139~142, 144, 145, 154, 193, 199, 211~214	
	11	111, 114, 116, 117, 120, 121	
	14	1~30, 32~34, 36, 38, 39, 41~45, 48~58, 60~67, 72~91, 97, 99~105, 107, 108, 110, 111	
	18	20, 32, 35, 37, 65, 70, 77~81, 83, 84, 101~110, 112~116	
	20	全域	
	23	93, 156	
	24	31~42, 44, 45, 87, 89, 91, 96, 98, 101, 114, 125, 139, 140, 145, 146	
	25	42, 106, 107	
	26	70, 98, 99, 118	
	27	8, 11, 23, 24, 28~30, 32, 67~72, 75~83, 87, 93	
	28	20, 39, 41, 42, 193, 194	
	29	14, 20, 181	
	30	21, 29~32, 34, 35, 70, 75, 77, 78, 80~89, 106, 108, 112~114, 121	
	31	10, 76, 103, 104, 109~112, 114~120, 123 を除く 全域	
	34	43, 52, 87, 88, 98, 113, 115, 154	
	35	40, 41, 45	
	36	5, 15, 16, 18, 20, 21, 27, 29~38, 47~50, 58	
	39	14, 17, 18, 20~23, 35, 38, 40, 52, 56, 71~74, 81	
	43	33~35, 138	
	44	7~11, 28~30	
	45	全域	
	47	30~32, 34~36, 43	
	48	全域	
	49	全域	

		50	1~13, 15~25, 27, 33, 34, 37~40, 47~67	
		51	6, 11, 21, 34, 39, 40~43, 48~50,	
			68, 69, 73, 74, 76, 100, 103, 123, 124, 127~131, 133~135	
		52	12~14, 25, 60, 61, 64, 66	
		54	42, 43, 109, 112~114	
		55	1~5, 7, 10~20, 26~33, 35~38 40~44, 47, 50, 52, 53, 56~63, 69~79, 82~84	
		56	30~34, 50, 52, 101~103, 106, 107	
		57	21~24 を除く 全域	
		58	1~5, 7, 9, 12, 13, 16, 17, 19, 22, 23, 25~27, 29~35, 37, 44~50, 53~56, 66, 71~79	
		59	14, 15, 39 を除く 全域	
		61	1, 6, 11, 20, 21, 23, 29~37, 39~ 41, 44, 45, 47, 54, 58, 66~77, 79 ~81, 94, 95, 100, 102~104, 111, 113~119	
		62	全域	
		63	15, 16, 42	
		64	全域	
		65	15~17, 19~32, 34~36, 40	
		66	1	
		67	56 を除く 全域	
		68	19, 40, 47, 48, 50, 63~71, 73~ 77, 79~82, 90, 91, 93, 94, 100, 101, 124~126, 133, 135	
		69	23~50, 58, 60, 67, 69	
		70	3, 7~10, 14~17, 19, 21, 22, 24~ 35, 37~44, 47, 69, 70, 73~75, 77, 82, 85, 86, 88, 90~94	
			1, 2, 14, 23, 24, 35~37, 44, 49~ 53, 56, 57, 59~61, 67, 70, 71, 73, 76~81, 94, 95, 97, 98, 103, 104, 106, 110, 111, 115, 118, 120~131, 135, 137~140, 142~145, 147~ 156, 159, 162, 166, 171~173, 175, 176, 180	
		77	1, 3, 42, 43, 45, 51, 92, 101, 102, 106, 109, 110, 114	
		79	9, 11~13, 17~20, 41, 50, 54~ 56, 58, 104, 108	
		80	10, 65, 68, 71, 77, 79, 80, 84	

		81	48, 52				
		82	全域				
	伐採面積の規模の縮小を行うべき森林（注2）		該当無し		主伐林齢：標準伐期齢+10年以上 皆伐面積：10以下		
区分	施業の方法	森林の区域		面積（）	森林経営計画における主な実施基準（参考）（注1）		
		林班	小班				
森林の有する土地に関する災害の防止機能・土壌の保全の機能、快適な環境形成の機能又は保健機能の維持増進を図るための森林（山地災害防止林、生活環境保全林、保健・文化機能等維持林）	長伐期施業を推進すべき森林（注3）	4	2~4, 6, 64, 68, 133, 134	365.41	主伐林齢：注3の表による 皆伐面積：20以下		
		22	12, 106, 112, 113				
		23	30, 89, 96				
		24	97, 99, 102, 103, 123, 126, 127				
		25	33, 71				
		26	10				
		34	44, 45, 56				
		35	34, 36, 37, 43, 44, 46, 47, 49				
		44	31~33, 35				
		58	6, 8, 10, 11, 15, 21, 24, 28, 38~43, 51, 52, 57~59, 63, 65, 67~70				
		61	3, 12~16				
		65	38, 39				
		81	35~37, 39, 41, 87, 88				
		複層林施業を推進すべき森林	複層林施業を推進すべき森林（択伐によるものを除く）			4	16, 139, 153~156, 159~161
11	84, 97						
22	71						
23	100, 105						
25	2, 4~6, 9~14, 17, 19~21, 26, 28 ~30, 35~37, 40, 43, 45~48, 50, 51, 53, 54, 58~65, 69, 70, 72, 73, 75, 76, 78, 79, 81~86, 88, 90, 91, 93~96, 99, 101, 104, 108~112						
	27			7, 10, 13~20, 22, 25, 33, 34, 48~ 55, 57~59, 62, 86, 88, 89, 91, 92, 991			
				28	29, 31, 36, 37, 43~46, 48, 49, 52, 54, 55, 61, 67~75, 77~79, 82~ 85, 101, 103, 104, 110, 112~122, 125~127, 129, 144~146, 148~ 151, 167, 169, 187, 188, 190~192, 1061		
					30	3, 18, 19, 50, 53, 59, 61~64, 67, 105, 115	
31	10, 104						
34	1, 40, 46~49, 57, 66, 89, 99, 119, 156						
35	42, 179						

		44	12~14, 21		
		58	14, 18, 20, 36, 62, 64		
		59	14, 15, 39		
		61	48, 64, 65, 101		
		77	42, 43		
		79	105, 106		
	択伐による複層林施業を推進すべき森林	2	1, 2, 4~6, 18, 224	163.17	主伐林齢：標準伐期齢以上 伐採率：30%以下又は40%以下 その他：標準伐期齢時の立木材積の7/10以上を維持する
		4	55, 83, 89, 115~122, 130		
		5	15, 20, 73, 77, 90, 92, 94~96, 98~99, 100, 133, 134		
		6	5, 6, 131		
		7	5, 17, 18, 22, 23, 102		
		8	146~150		
		9	88, 149~153		
		11	53		
		14	92~96		
		15	296, 297		
		16	13, 276		
		21	162, 165~180, 182, 183, 185, 205		
		24	43, 109, 110, 113		
		30	60, 65, 66, 68, 90, 91, 93, 98		
		31	76, 103, 109~112, 114~120, 123		
		37	134~136		
		42	142~154, 1151, 1152		
		43	145, 146		
		44	36		
		50	41~46		
		51	23, 24, 37, 38, 59, 62, 64, 104, 106, 107, 113~116, 126		
	53	86, 96~98, 103			
	54	34, 86, 87, 108, 115			
	55	45, 46, 51, 54, 55, 64~67, 80			
	56	44, 69, 71~73			
	77	114			
	特定広葉樹の育成を行う森林施業を推進すべき森林		該当無し		特定広葉樹について、標準伐期齢時の立木材積を維持する

注1 森林経営計画を作成して施業を行う場合、本表の区分毎の具体的な施業方法については、注2、注3に定める方法のほか、農林水産省令（森林法施行規則）で定められる実施基準に適合した方法とする必要があります。

注2 「伐採面積の縮小を行うべき森林」では、森林経営計画の実施基準として、皆伐の1伐区あたりの伐採面積は10ha以下とする必要があります。

注3 「長伐期施業を推進すべき森林」では、森林経営計画の実施基準として、主伐可能な林齢を次のとおり定めます。

区分	樹種	主伐可能な林齢
人工林	エゾマツ・アカエゾマツ	120年以上

	トドマツ	80 年以上
	カラマツ（グイマツとの交配種を含む）	60 年以上
	その他針葉樹	80 年以上
	カンバ・ドロノキ・ハンノキ（天然林を含む）	60 年以上
	その他広葉樹	80 年以上
天然林	主として天然下種によって成立する針葉樹	120 年以上
	主として天然下種によって成立する広葉樹	160 年以上

【道有林】

区分	施業の方法	森林の区域		面積 ()	森林経営計画における 主な実施基準（参考） （注1）
		林班	小班		
水源の養の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林（水源養林）	伐期の延長を推進すべき森林	69	1, 3	3,351.52 —	主伐林齢：標準伐期 齢+10年以上 皆伐面積：20 以下
		70	1, 2, 51, 52		
		71	1, 2		
		72	2~4		
		73	1		
		75	51, 52, 57, 60, 61		
		76	51, 52, 56~63, 66		
		77	51, 52, 54, 56, 57		
		78	51, 52, 56, 57		
		79	51, 52		
		80	51~60		
		81	1, 4, 7, 51~55, 57		
		82	1~3, 51~54		
		84	15, 51~53, 55, 60, 62~66		
		85	51, 52		
		86	52~55		
		87	53~59, 64		
		88	51, 52, 54~64		
		147	2		
		148	1, 5		
149	1				
150	1				
		151	1		
		152	1, 3, 5, 51		
		153	1, 4, 51~56		
		154	1		
		160	1		
		161	1, 2, 5		
		162	1, 8		
		164	1, 31		
		165	6, 9, 12, 13, 31, 54, 59		
166	1, 2				

		169	5~7, 31, 57~59			
	伐期の延長並びに複層林施業を推進すべき森林	複層林施業を推進すべき森林（択伐によるものを除く）	70	32	163.16	主伐林齢：標準伐期齢+10年以上 伐採率：70%以下 その他：標準伐期齢時の立木材積の1/2以上を維持する
			73	31, 43, 44		
			75	53~56		
			76	53~55		
			81	41~43		
			82	31, 40		
			86	51		
区分	施業の方法	森林の区域		面積（）	森林経営計画における主な実施基準（参考）（注1）	
		林班	小班			
水源の養の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林（水源養林）	伐期の延長並びに複層林施業を推進すべき森林	択伐による複層林施業を推進すべき森林	69	2	5,777.57	主伐林齢：標準伐期齢+10年以上 伐採率：30%以下又は40%以下 その他：標準伐期齢時の立木材積の7/10以上を維持する
			70	3, 4, 6, 31		
			71	5		
			72	6		
			73	2, 32, 41, 42		
			74	1~3		
			75	1, 3, 4, 31		
			76	1, 3, 7, 8, 31~33		
			77	1, 2, 13, 31~35		
			78	4, 6, 9, 31~33		
			79	2, 5, 31~34		
			80	2, 4, 12, 17, 31, 41~43		
			81	2, 3		
			82	4, 5		
			84	1, 2, 7, 12~14, 18, 31, 32, 34, 39, 41~45		
			85	6, 9, 10, 31~33, 36, 37, 41		
			86	1, 5, 7~10, 31, 36~40		
			87	1, 5~7, 31~38, 41, 42		
			88	6~8, 31, 33, 41		
		148	3			
		149	2			
		150	5			
		151	7			
		152	7			
		153	5			
		154	2			
		160	4			
		161	3			
		162	9			
		164	2, 32			
		165	7, 11, 15, 32			
		166	3			

			167	2, 3, 5, 6, 31, 48, 55			
			168	2			
			169	2~4, 60~62			
			171	1~4, 51			
			172	1~4, 51, 52			
	伐採面積の規模の縮小を行うべき森林（注2）			該当無し			主伐林齢：標準伐期齢+10年以上 皆伐面積：10以下
区分	施業の方法		森林の区域		面積（）	森林経営計画における主な実施基準（参考）（注1）	
			林班	小班			
森林の有する土地に関する災害の防止機能・土壌の保全の機能、快適な環境形成の機能又は保健機能の維持増進を図るための森林（山地災害防止林、保健・文化機能等維持林）	長伐期施業を推進すべき森林（注3）			該当無し		主伐林齢：注3の表による 皆伐面積：20以下	
	複層林施業を推進すべき森林	複層林施業を推進すべき森林（択伐によるものを除く）		69	51	436.89	主伐林齢：標準伐期齢以上 伐採率：70%以下 その他：標準伐期齢時の立木材積の1/2以上を維持する
70				53~55, 59, 61, 62			
71				52, 53			
77				53, 60~62			
78				43, 54, 55			
79				53			
81				44			
83				51, 52, 54, 55			
84				67			
87				51, 60, 63			
147				51			
153				57			
162				51			
165				51~53, 55~58, 61, 64~68, 70, 72			
166				51~53, 55~57, 59, 61~64			
169				40, 41, 52			
複層林施業を推進すべき森林	択伐による複層林施業を推進すべき森林		70	56~58, 60	4,748.82	主伐林齢：標準伐期齢以上 伐採率：30%以下又は40%以下 その他：標準伐期齢時の立木材積の7/10以上を維持する	
			74	51, 52			
			75	62, 63			
			76	41, 64, 65			
			77	41, 42, 59			
			78	41, 42, 53			
			79	40, 41			
			83	1, 9, 10, 12~17, 32, 35~37, 40~44, 46, 47, 49, 53			
			84	46, 47, 49			
			85	42~44			
			86	41~44			
			87	43, 44, 61, 62			
			88	65~68			
148	4						

		155	1~4, 31, 51, 52	
		156	1, 5~10, 31~34, 51, 52, 54	
		157	2, 7, 8, 31~34	
		158	1~4, 31, 32	
		159	1, 2, 5~7, 9, 10, 31~33	
		160	5	
		161	4	
		163	1	
		164	3	
		165	14, 60, 62, 63, 69, 71	
		166	4, 58, 60	
		167	1, 11	
		168	1	
		169	1, 11	
		170	1~8, 31~ 33, 40, 41, 51, 52, 54, 58, 60	
		173	1~4	
	特定広葉樹の育成を行う森林施業を推進すべき森林		該当無し	特定広葉樹について、標準伐期齢時の立木材積を維持する

別表3 鳥獣害防止森林区域

【一般民有林】

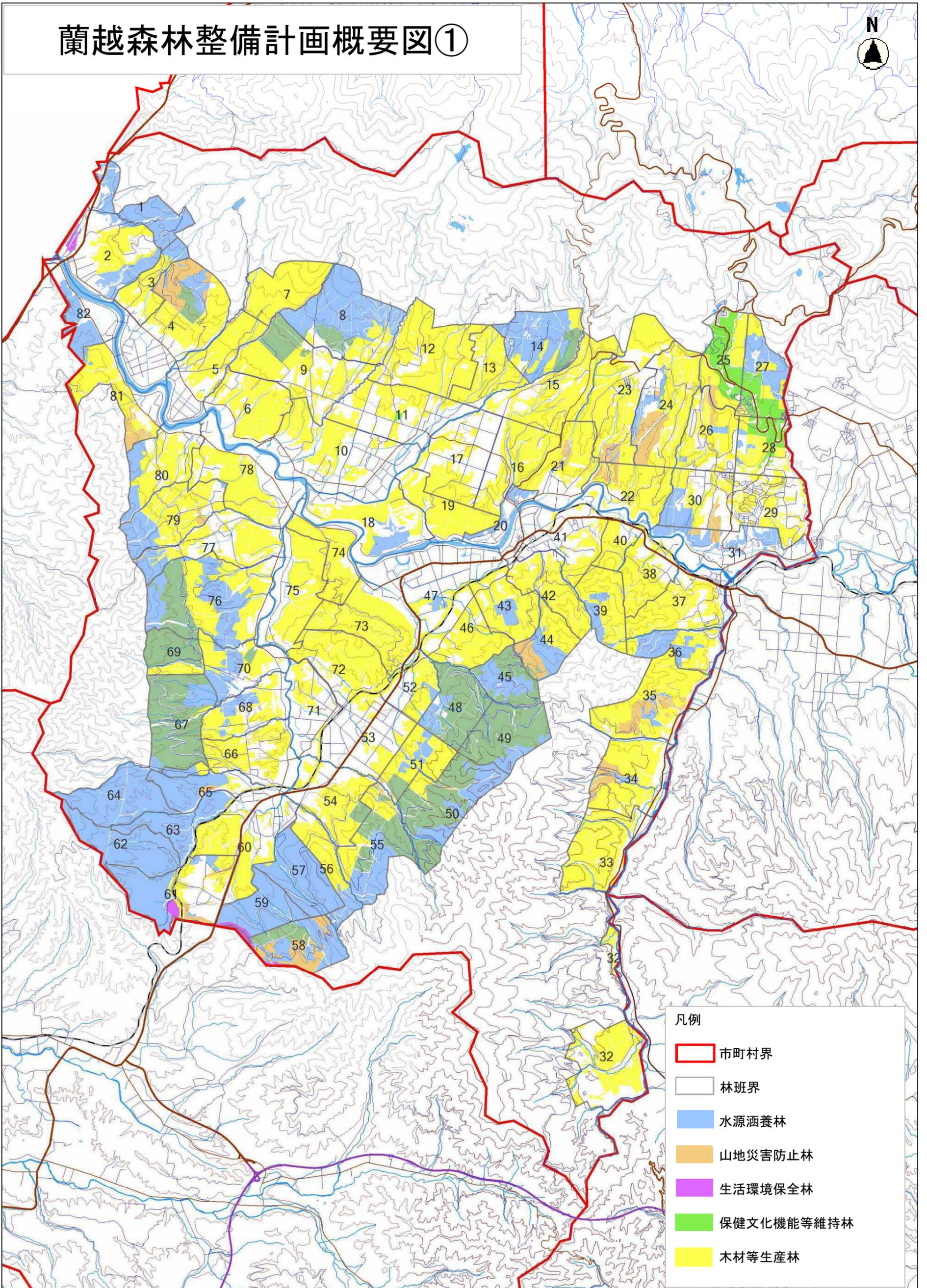
対象鳥獣の種類	森林の区域		面積（）
	林班	小班	
エゾシカ	1	全域	9,474.69
	8~13	全域	
	15	全域	
	17	全域	
	32	全域	
	35~39	全域	
	43	全域	
	45~61	全域	
	71~74	全域	

注 森林の区域の記載については、付属資料の市町村森林整備計画の概要図に図示することをもって代えることができる。

【道有林】

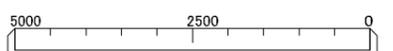
対象鳥獣の種類	森林の区域		面積（）
	林班	小班	
エゾシカ	71～75	全域	3,283.11
	84	全域	
	88	全域	
	162	全域	
	164	全域	
	165	全域	

蘭越森林整備計画概要図①

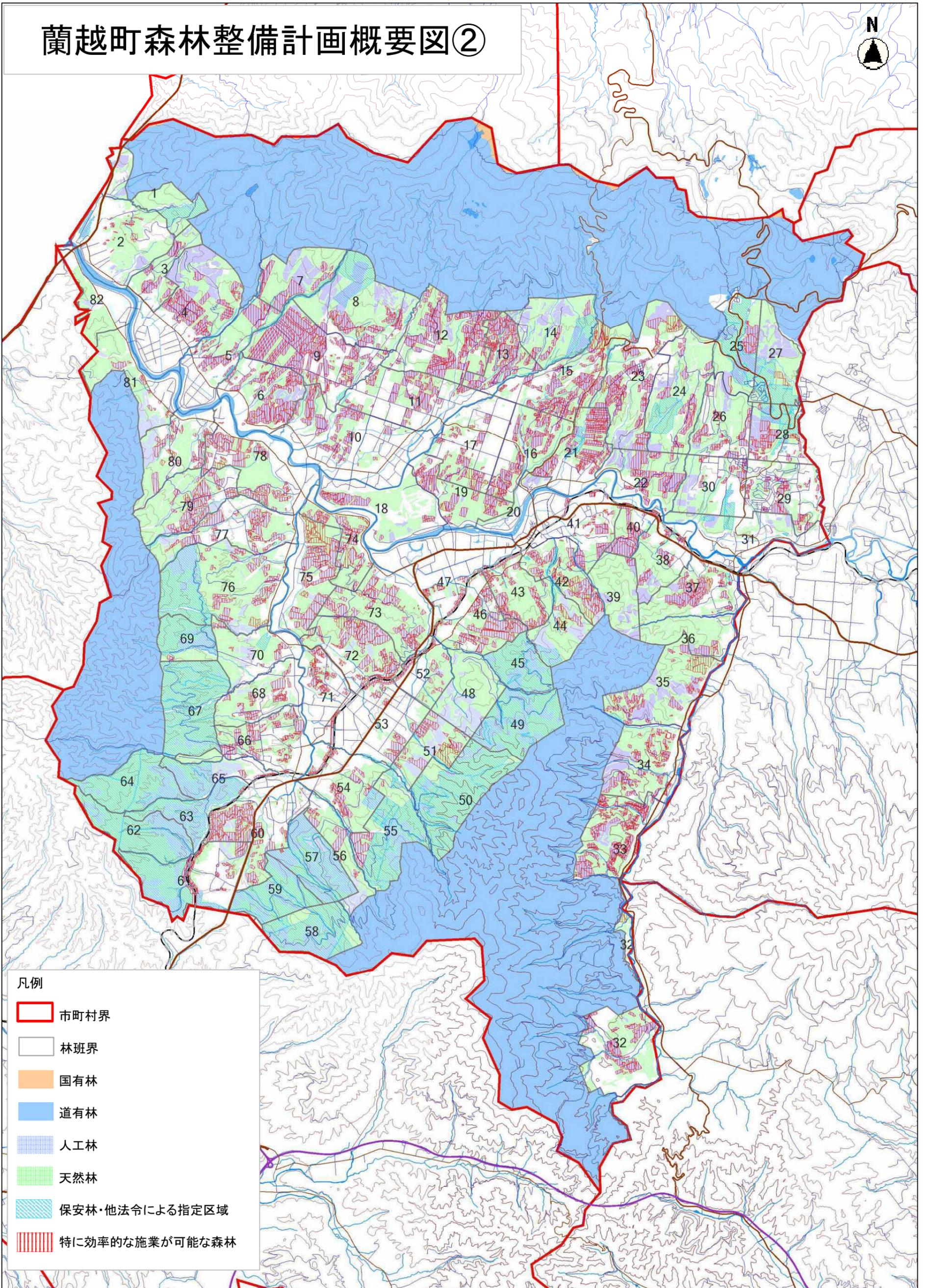


森林計画図は、道が森林資源の把握のために利用しているものであるため、現地において実測や確認を行ったものではなく、必ずしも正しく表示しているとは限りません。

縮尺 1 : 100000



蘭越町森林整備計画概要図②

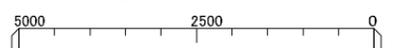


凡例

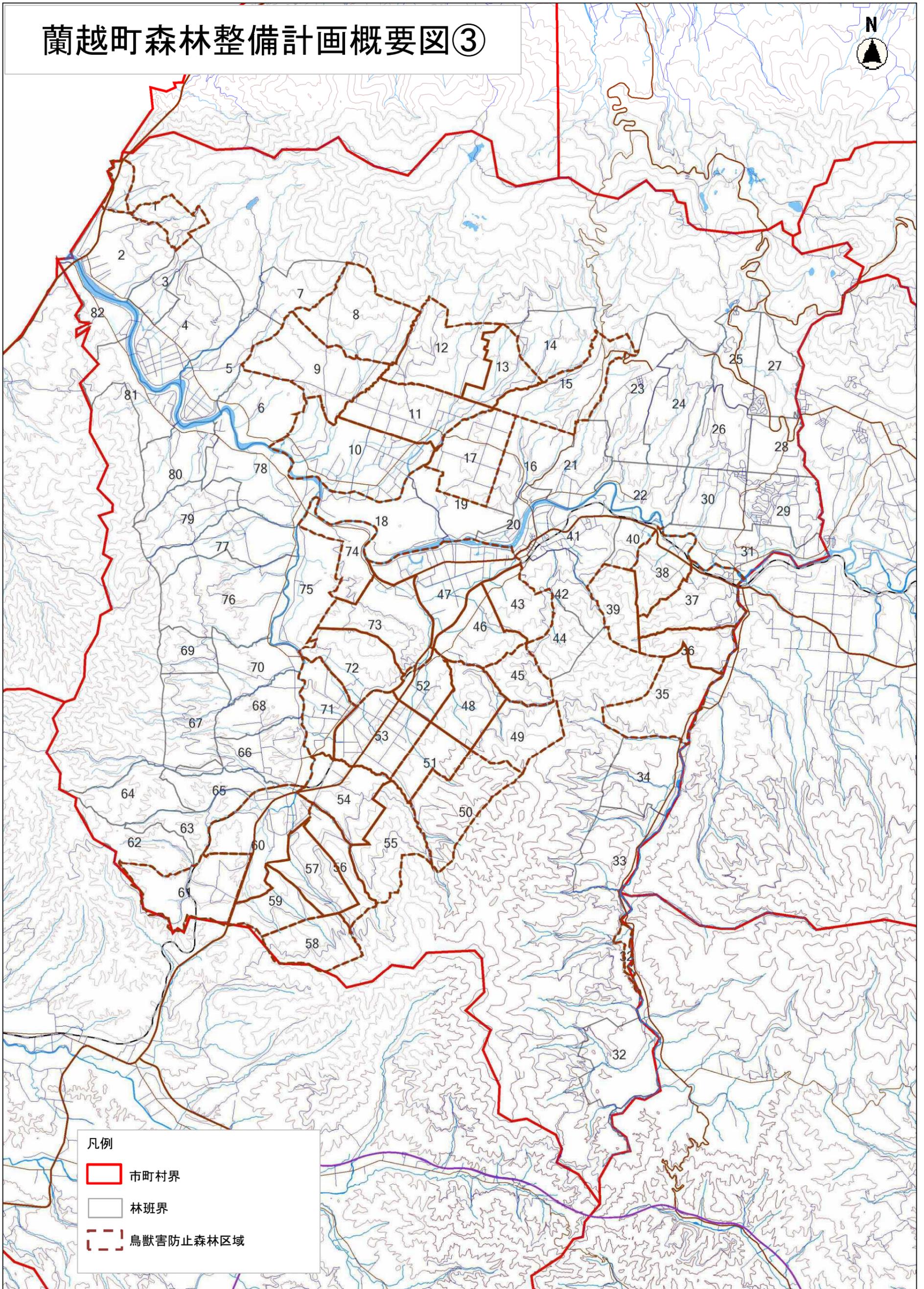
- 市町村界
- 林班界
- 国有林
- 道有林
- 人工林
- 天然林
- 保安林・他法令による指定区域
- 特に効率的な施業が可能な森林

森林計画図は、道が森林資源の把握のために利用しているものであるため、現地において実測や確認を行ったものではなく、必ずしも正しく表示しているとは限りません。

縮尺 1 : 100000



蘭越町森林整備計画概要図③



森林計画図は、道が森林資源の把握のために利用しているものであるため、現地において実測や確認を行ったものではなく、必ずしも正しく表示しているとは限りません。

縮尺 1 : 100000

